



2020 年度 事業報告書



神戸 YWCA 創立 100 周年記念オンライン式典

公益財団法人 神戸 YWCA



わいわいデイルーム



外国にルーツを持つ子どものための
「勉強に役立つ日本語」プログラム（オンライン）



神戸YWCA 保育園



第 101 回神戸YWCA 定期会員集会

目次

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
I．平和・人権事業	2
平和活動部	
被災者支援プロジェクト	
＜グループ＞ 現代史勉強会いもづる	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
ジェンダーグループ	
II．国際理解・多文化共生事業	5
国際相互支援部	
III．地域福祉事業	6
神戸YWCAまごの手（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・居住支援事業）	
神戸YWCA保育園	
地域福祉部	
＜グループ＞ わいわいダイルーム	
弓の木歌の集い	
ちやいやあらんど	
夜回り準備会	
声の奉仕	
カフェもぐもぐ	
わいわい食事会	
IV．生涯学習・人材育成事業	19
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師養成コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
＜グループ＞ 愛農人倶楽部	
アフタヌーン・ティー	
文学講座	
マザースカレッジ企画会	
わいわい科学クラブ	
V．活動共通事業	25
運営委員会	
定期会員集会準備会	
指名委員会	
会員委員会	
100周年記念事業実行委員会	
キリスト教基盤部	
＜グループ＞ 讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
VI．広報・ファンドレイジング	31
機関紙編集部	
ファンドレイジング実行委員会	
VII．法人	34
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	35
2020年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・監事・運営委員・職員	36
決算報告書	38
監査報告書	46



わいわい食事会



夜回り準備会



会員からまごの手に届けられた手づくりのマスク

YWCA の使命（ミッション）

公益財団法人神戸 YWCA の目的

この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。（定款第3条）

2020 年度 神戸 YWCA ビジョン・活動目標・標語聖句

神戸 YWCA ビジョン 一人ひとりが大切にされる社会

活動目標 共に社会を変える一歩を踏み出す

標語聖句 見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。（イザヤ書 43 章 19 節）

日本 YWCA 主題・使命（ミッション）・ビジョン

第 32 回全国総会決議

主 題 「平和を実現する人々は幸いである」（マタイによる福音書 5 章 9 節）

日本 YWCA のビジョン

地域で女性達が主体的に活動することを通して以下の社会をめざします。

- (1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
- (2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
- (3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
- (4) 多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを尊重する社会

事業報告

I 平和・人権事業

平和活動部

代表 鶴崎祥子
 メンバー 6人
 担当職員 伝明地敦子

●活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

●活動報告

今年度は「コロナ禍」の影響が大きく、平和活動部部会も7月がスタートで年8回実施。活動実績は自分たちの「持ち寄り勉強会」のみ、予定通り2回開催し、「敵基地攻撃力保有」「日本学術会議」について認識を深めた。

他団体との連携で昨年から引き続いた「神戸市会に辺野古の基地建設についての請願署名」の件に、神戸YWCA平和活動部として「実行委員会」に参加。機関紙を通して会員から署名に協力(220筆)があった。また署名活動にも参加、10月20日ポスティングを部の活動として阪急六甲駅周辺に400部配布。

8月12日に、ドキュメンタリー映画作家の影山あさ子さんが来訪。沖縄の現状を聞き、「ドローンの目」の冊子を頂く。

11月3日、「戦争させない、9条壊すな、総がかり行動兵庫県実行委員会」主催の「兵庫憲法集会」は、コロナ禍での「憲法、平和、民主主義を問う」のパネルディスカッション。共催でもあり参加したメンバーは身近に考えさせられた。

平和集会、ゲスト学習会、憲法出前授業は、コロナ禍でできなかった。次年度からは平和活動グループとして、新たな気持ちで活動を継続する。

●活動実績

開催日	部会 (付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
7月3日	第1回部会	事務取り決め、今年度の活動計画、予算の再検討	6	39 (全8回)	4
8月21日	第2回部会(英国屋)	平和集会開催の可能性、持ち寄り勉強会のテーマ	5		
10月2日	第3回部会	持ち寄り勉強会の実施 戦争する国造りストップの署名、活動への提案	4		
11月13日	第4回部会	持ち寄り勉強会の実施、新会員組織への意見 2020年度計画、2021年度の動き	5		
12月17日	第5回部会	2020年度報告案及び決算、2021年度新組織への意見交換	4		
1月21日	第6回部会(オンライン)	2021年度の平和活動グループの活動計画と予算	5		
2月18日	第7回部会(オンライン)	メンバーが日頃考えていることなどを話す交流会	6		
3月29日	第8回部会	次年度平和活動グループとしての取り決めなど	4		

他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	神戸YWCA 参加人数
5月9日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (オンライン)	第2回 オンライン実行委員会		1
6月29日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (神戸市勤労会館)	第10回実行委員会		2
7月22日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (神戸市勤労会館)	第11回実行委員会		1
8月24日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (神戸市勤労会館)	第12回実行委員会		1
9月12日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (神戸市勤労会館)	ロビー活動勉強会	豆多敏紀 (堺市市民団体メンバー)	1
10月16日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会 (神戸市勤労会館)	第14回実行委員会		1

10月20日	神戸市への辺野古請願署名活動（平和活動部独自で）	チラシ配布		3
11月3日	兵庫憲法集会（神戸芸術センター）	パネル討議	総がかり行動兵庫県実行委員会 寺脇研、上脇博之、永井幸寿	4
3月11日	神戸市への辺野古請願署名実行委員会（神戸市勤労会館）	第18回実行委員会		1
3月21日	市民デモ HYOGO 春のつどい（神戸市勤労会館）	交流会		3

被災者支援プロジェクト

代表 福田百
メンバー 5人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300」の活動方針に沿って今年度も実施する。また利用者家族との交流も実施し、福島的生活者の方々から学び続ける。

なお発災から10年目となる今年、これまでの活動を振り返ると共に今後の活動の形を検討する。

●活動報告

今年度も会員から提供を受けた家屋（明石市内）を用いてセカンドハウス・プログラムを実施することができた。申込者は6家族18人であったが、新型コロナウイルスの影響を受けて5家族がキャンセルし、利用は1家族2人となった。利用キャンセルのうち1家族は、夏、冬と2回も申し込んでくださったうえでの断念である。

2021年3月は、東日本大震災発災から丸10年となる。当初からセカンドハウスを提供してくださった西明石の大家さんが3月を機に活動終了することも受け、被災者支援プロジェクトでは、今後の活動の継続の有無、継続するならばその形はどのようなかを検討した。全4回のZoomによるお話し会に参加し（うち1回は神戸YWCA企画）、保養プログラム実施団体、帰還困難区域住民、カーロふくしま職員および福島YWCAメンバーなど、原発事故後の福島で生活する人たち、また関わってきた人たちの声を聞いた。発災直後の「支援」から、「共に生きる」活動に変化してきていることを思った。活動を通して福島とつながり続け、共に学び合う関係をさらに深めていきたい。

2021年度以降は、福島と神戸をつなぐ「共に生きる」仲間となっていきたいとの想いを込めて、「^{こうふく}神福のはしごプロジェクト」と名を改め、活動に取り組む。

●活動実績

開催日	ミーティング（場所）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数（全回数）	平均参加人数
8月19日	第1回ミーティング（オンライン）	メンバー顔合わせ、年間計画、担当、2021年度の活動検討など	5	15 （全3回）	5
10月1日	第2回ミーティング（オンライン）	「ふくしまの現状を知る」お話し企画について	5		
1月7日	第3回ミーティング（オンライン）	2020年度活動の振り返り、2021年度活動計画について	5		

開催日	プログラム・イベント名（場所）	テーマ・主な内容	参加人数
9月23日	Zoomお話し会①	「ふくしまと全国を繋いだ『保養』の歩みとこれから」お話し：早尾貴紀（3.11受入全国協議会共同代表など）	3
10月12日	Zoomお話し会②	長泥地区前地区長に聞く会	6
10月26日	Zoomお話し会③	人道支援と聖書にまつわる社会的、歴史的背景お話し：山中努（福島連携復興センター地域支援チーム）	2
11月2日	Zoomお話し会④	福島的生活者の声を聞くお話し：福島YWCAメンバーを中心に	10
延参加人数（全4回）			21
7月21日～24日	セカンドハウス・プログラム（明石）	福島およびその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れプログラム（コロナウイルス感染拡大のため中止）	1家族 3人
8月8日～11日		中止	1家族 4人
12月15日～29日		実施	1家族 2人

1月3日～6日	セカンドハウス・プログラム (明石)	中止	1家族 3人
3月6日～11日			1家族 3人
3月25日～31日			1家族 3人
12月14日	セカンドハウス / お掃除し隊 (明石)	セカンドハウス利用の前後で、 住居の掃除と寝具等の洗濯を実施 (全1回)	2
延参加人数 (全7回)			4

グループ

現代史勉強会 いもづる

休会中

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子
メンバー 5人

●活動方針・目標

- ・他団体、グループと橋を繋ぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行い、学び語り合う。

●活動報告

恒例の「学び 語り合い つながる会」を、コロナ禍で催すことができなかったため、4月にキンシャサ(コンゴ民主共和国の首都)の状況とNGO活動について話を伺う予定だった深尾幸市さん(桃山学院教育大学・客員教授、Rogationist College 交換客員教授)に、エッセイを書いていただいた。ピース・ブリッジのメンバーも「コロナ禍で思うこと」を、それぞれ書いて「ピース・ブリッジだより No.1」を発行した(2020.11.20)。

「非核の政府を求める兵庫の会」主催の、3回の市民学習会に協賛し(①コロナ禍での地域医療 ②平和ミュージアム国際ネットワーク ③アメリカの人種問題)について、ピース・ブリッジのメンバーが司会などを担当した。

メンバー・ミーティングは、9月と12月に喫茶店で(密にならないことに留意して)行った。

●活動実績

開催日	ミーティング(場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
9月17日	ミーティング(元町の喫茶店)	コロナ禍での活動について	4	9 (全2回)	4
12月12日	ミーティング(阪急六甲の喫茶店)	「ピース・ブリッジだより」など	5		

開催日	プログラム・イベント名(場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
8月29日	新型コロナと地域医療 —いま医療現場が求めるもの— (兵庫県保険医協会会議室)	学習会。「非核の政府を求める兵庫の会」に協賛	水間美宏 (東神戸病院内科医師)	15
10月31日	「海外と日本の平和博物館ネットワーク」を 通して非核の世界を (兵庫県保険医協会会議室)	学習会。「非核の政府を求める兵庫の会」に協賛	山根和代 (平和のための博物館 国際ネットワーク理事)	14
12月5日	栄光のアメリカ、傷だらけのアメリカ —これからのアメリカと日本— (兵庫県保険医協会会議室)	学習会。「非核の政府を求める兵庫の会」に協賛	大塚秀之 (神戸市外国語大学 名誉教授)	16

ジェンダーグループ

代表 斎藤明子
メンバー 4人

●活動方針・目標

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会づくりを目指す。

●活動報告

今年度グループ立ち上げにより、5月からメンバー5人で活動を開始した。毎月1回オンライン・対面でのミーティングを行っている。最初に互いにジェンダーに関する日ごろの考えを出し合い、このグループでどのような活動ができるかを模索した。

今年度は『フェミニズムはみんなのもの』（ベル・フックス著、エトセトラブックス、2020年）の読書会で意見交換をしつつ、「神戸YWCAジェンダーに関するアンケート」を実施することにした。読書会の担当はメンバーの持ち回り形式で、そこから出てきた意見や考えを深め、アンケート作成へとつなげた。目的は、私たちの中に潜むジェンダー意識に気づくことである。

今年度は外部への発信としては、一般向け企画よりもまず神戸YWCAの内部を対象に、ジェンダーに対する働きかけを始めることになった。アンケート作成において、メンバーそれぞれの課題も含め、ジェンダーについて共有し考察できたことはよい経験となった。

●活動実績

開催日	部会 (付記以外、オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
5月31日	第1回ミーティング	顔合わせ、活動方針、ジェンダー関連の 気になることの共有	5	50 (全11回)	4
6月21日	第2回ミーティング	活動計画について	5		
7月5日	第3回ミーティング (喫茶店)	神戸Yのジェンダー活動の記録について、活動の アイデア出し、ミーティングの運営方法について	5		
8月9日	第4回ミーティング (喫茶店)	読書会	4		
9月6日	第5回ミーティング	読書会、アンケート企画について	5		
10月3日	第6回ミーティング	読書会、会員新組織について、アンケート企画について	5		
10月31日	第7回ミーティング	アンケート項目の検討、フラワーデモ学習会について	4		
11月21日	第8回ミーティング	アンケート項目の検討	5		
12月31日	第9回ミーティング	アンケート回答の進捗状況確認、来年度計画について 今後の活動参加について	5		
2月6日	第10回ミーティング	アンケートのまとめ方について	4		
3月6日	第11回ミーティング	アンケート結果の共有方法、来年度計画	3		

主催プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
12月～2021 年1月	ジェンダーに関する アンケートの実施	日常生活の中にある身近なジェンダー問題に 関する質問項目を作成し、全国のYWCA会員を 対象にアンケートを実施。計58人から回答を得た。	58

II . 国際理解・多文化共生事業

国際相互支援部

代表 福田百
メンバー 5人
担当職員 伝明地敦子

●活動方針・目標

国際理解を深め、日本国内で暮らす在外外国人との共生について共に考え、学び合う開かれた機会を提供する。また、メンバーそれぞれの活動についても知り合う機会も持ち、学びと交流を深める。

●活動報告

今年度は、COVID-19の感染拡大を受けてプログラム「Taste The World (TTW / 世界の料理を食べよう)」の実施を見送り、不定期に行う部会をオンラインにて開催した。

部会では、各メンバーのYWCAとの関わりやコロナ禍における生活について共有することから始め、メンバーの活動や置かれる社会状況の多様性を感じることができた。また、神戸YWCA 100周年以降の新たな会員活動の取り組みについても、忌憚なく意見交換ができた。

メンバーが多忙であったことから、国際相互支援部の目的や役割を丁寧に対話していくことができなかつた。日本国内で暮らす在日外国人を取り巻く課題や、問題を引き起こす社会構造の様相、目指す共生のあり方を描きながら、メンバーにとって無理のない動き方という、理想と現実のギャップを埋めていくやり方を模索していく必要がある。

会員新組織への移行の中で国際相互支援部は解散するが、メンバーのなかでやりたい企画があればそのときに、新組織で設立される委員会(「世界・社会委員会」など)あるいはプロジェクトに参加するといった形で、ゆるやかなつながりを今後も持ち続けたい。

●活動実績

開催日	部会(場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数(全回数)	平均参加人数
10月31日	第1回部会(オンライン)	今年度の活動について、メンバーについて 会員新組織の提案について	6	10 (全2回)	5
2月19日	第2回部会(オンライン)	来年度以降の活動について	4		

Ⅲ. 地域福祉事業

神戸YWCA まごの手

所長	寺内真子
居宅介護支援事業所管理者	吉田好江
ケアマネジャー	吉田好江、福嶋佳子
訪問介護事業所管理者	寺内真子
サービス提供責任者	吉田里子、藤井かえ子、川西正子、池本薫
子育て支援コーディネーター	藤原道子
事務パートタイム職員	湯朝律子、島村正
登録ヘルパー	新井育子、有富和子、浦川喜代美、奥乃恵美子、勝野律子、加東みどり、川崎初子、北野真佐子、岸田高子、木村房代、久保田三鈴、栗本敬子、斎藤美智、鈴木泰子、鈴木由希子、鈴木嘉一、竹内真理子、田中憲子、田中秀子、成田光晴、成美久美、野村春美、福田悦子、前田豊子、松岡晴子、松田良枝、丸井和子、三木二三子、宮崎公子、村瀬恵子、森島喜久美、森本眞智子、守屋淑子、涌波啓子(計34人)
居住支援事業担当	寺内真子、吉田好江、塩見洋子

●事業方針・目標

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援(ケアマネジメント)や訪問介護(身体介護、生活援助)等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。

また、昨年度に引き続き、住宅確保要配慮者に対する居住支援相談援助を行う。

- ①「神戸YWCA総合サポートセンター(仮称)」の立ち上げに向けて、神戸YWCAの他の地域福祉活動と連携する。
- ②地域包括ケアの実現を目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ③住宅確保要配慮者に対する居住支援相談援助を行う。
- ④利用者一人ひとりに寄り添い、要支援から要介護、ターミナルまで切れ目のない支援を提供する。
- ⑤よりよいサービス提供につながるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ⑥次代を担う人材を確保し、育成する。

●事業報告

今年度、居宅介護支援事業はケアマネジャー2人体制で業務にあたり、月平均50.6人の利用者のケアマネジメント(うち予防ケアマネジメントは12.3人)を実施した。

新型コロナウイルスの影響でサービス利用を控える方があり、また、独居が難しくなって施設に入所される方などがあった。住み慣れた町で住み続けていくことを支援しているが、現実には難しい部分が多い。今後も利用者の思いを受け止めながら、地域で生活できる環境を整えていきたい。

訪問介護事業は、月平均利用者数は145.7人、月平均利用時間数は1083.5時間であった。年度当初は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の影響もあり、産前産後ヘルプの利用時間数が大幅減となったが、その後は回復増加している。長年勤めているヘルパーも高齢となり、次世代の育成が急がれるが、人材確保が難しい。少子高齢化が加速する中、介護人材不足は社会課題となっている。新型コロナウイルス感染予防のための研修や情報提供を行い、また、感染防護具や消毒剤を配付するなどの対策を行った。夏前までは、マスクやグローブ、ガウン、消毒用アルコール、体温計などが手に入らず確保に苦労した。マスクが手に入らなかった時期、会員やボランティアの方から手づくりマスクが届き、利用者やヘルパーに配付することができた。

居住支援事業では、毎週月曜日から金曜日（火曜日と12月30日から1月3日までを除く）の11時から17時までと土曜日の9時から15時まで、神戸YWCAまごの手に「すまいの相談窓口」を設置した。あんしんすこやかセンター、行政機関、医療機関、社会福祉協議会等にチラシを配付し、相談窓口を周知した。月曜午後に来所相談日を設定し、ボランティアと職員が対応した。6月以降の相談件数は21件。入居に至ったのは3件である。相談内容は、「家賃の安いところに転居したい」「1階またはエレベーター付の住宅に変わりたい」「施設退所後に住む家がない」「立ち退き期限が迫っている」「住宅環境が悪い」「家を出された」「介護付きの施設を探してほしい」等々であった。すべての相談に対応できる力量はないが、研鑽を積み、また他団体との連携を図りながら、一つひとつの相談に対して丁寧に対応し、適切な住宅を確保できるよう、支援活動を継続したい。

●事業実績

まごの手事務会・プログラム・イベント等

プログラム、ミーティング等（神戸YWCA本館）	在籍数	回数	延出席人数	平均数
事務会	9	12	88	7.3

事業データ

サービス種類			2018年度 月平均	2019年度 月平均	2020年度 月平均
居宅介護支援事業	居宅介護支援	件数	38.8	40.2	38.3
	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント（委託）	件数	11.8	13.1	12.3
	件数計			50.6	53.3
訪問介護事業	訪問介護	利用時間数	453.8	407.2	413.9
		利用者数	37.7	36.7	35.8
	介護予防訪問サービス（総合事業）	利用時間数	281.9	301.9	305.8
		利用者数	48.3	49.2	50.0
	生活支援訪問サービス（総合事業）	利用時間数	4.1	7	4.9
		利用者数	1.3	2	1.3
	障害福祉サービス（居宅介護）	利用時間数	138.8	125.8	128.2
		利用者数	14.5	13.9	13.0
	障害福祉サービス（同行援護）	利用時間数	25.1	88	48.7
		利用者数	4.3	6.8	5.6
	障害福祉サービス（移動支援）	利用時間数	38.3	39.9	31.3
		利用者数	3.6	3	1.8
	産前産後ホームヘルパー派遣 （神戸市委託）	利用時間数	93.4	111.6	75.0
		利用者数	17.4	23	17.5
養育ヘルパー派遣（神戸市委託）	利用時間数				
	利用者数				
ホームヘルプ（自費）	利用時間数	59.2	40.7	38.8	
	利用者数	13.8	14.5	15.1	

訪問介護事業	産前産後ホームヘルプ（自費）	利用時間数	20.7	8.2	9.7
		利用者数	5.8	2.4	2.3
	認知症高齢者訪問支援員 （ほっとヘルパー）派遣（神戸市委託）	利用時間数	21.9	24.7	27.2
		利用者数	2	2.8	3.4
利用時間数（延）計			1,137	1,155	1,083.5
利用者数（延）計			148.7	154.2	145.7

*産前産後ホームヘルパー派遣に養育ヘルパー派遣事業を含む。

内部研修（訪問介護事業所・全体）

開催日	内容	講師等	回数	出席者数	レポート 提出者数
4月20日	サービス実施記録の書き方について（レポート）	藤井かえ子	1	-	25
5月20日	高齢者虐待について（レポート）	藤井かえ子	1	-	23
6月27日	感染症対策について（講義）	小野美津江	3	24	6
7月25日	災害対応（ワークショップ）	寺内真子	3	13	10
8月29日	調理（ワークショップ）	藤原道子、寺内真子	3	11	14
9月20日	高齢者に多い疾病について（レポート）	藤井かえ子	1	-	24
10月24日	介護現場でのコミュニケーション（ワークショップ）	藤井かえ子	1	7	20
11月28日	障害者の暮らしを支えるしくみ・制度・ サービスについて（講義）	中央障害者生活 支援センター	1	10	12
12月19日	新型コロナウイルス感染予防と口腔ケア（講義）	池端伯子（中央区 歯科医師会理事）	1	14	-
1月20日	関節リウマチ・骨粗鬆症・骨折（レポート）	藤井かえ子	1	-	29
2月20日	認知症を取り巻く現状と課題（レポート）	藤井かえ子	1	-	28
3月27日	2021年度ヘルパー登録説明会・研修会	藤井かえ子、寺内真子	3	30	-

外部研修 / 他団体関係（居宅介護支援事業所） 2020年度は研修受講なし

外部研修 / 他団体関係（訪問介護事業所）

開催日	内容	主催	回数	出席者数
8月18日	第1回在宅における感染予防対策研修会 「在宅における感染予防対策について」	中央区医療介護サポートセンター他	1	1
9月15日	訪問介護における管理業務に関する サービス提供責任者講習	介護労働安定センター	1	1
9月17日	訪問介護事業者並びにサービス提供責任者研修 「地域共生社会における訪問介護」 「介護報酬改定の方向性」	医療経済研究・社会保険福祉協会	1	1
11月19日	コロナ禍における訪問介護の 緊急課題対策セミナー	神戸市シルバーサービス事業者 連絡会、訪問介護分科会	1	1
11月25日	介護現場で知っておきたい医学知識研修会 整形外科疾患（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
	介護現場で知っておきたい医学知識 心疾患（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
12月15日	介護現場で知っておきたい医学知識 認知症（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
	介護現場で知っておきたい医学知識 脳血管疾患（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
1月26日	介護現場で知っておきたい医学知識 リハビリテーション（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
	介護現場で知っておきたい医学知識 薬剤知識（オンライン）	神戸市介護サービス協会	1	1
2月16日	With コロナ時代の多職種連携について	中央区医療介護サポートセンター他	1	1
2月18日	訪問介護事業者並びにサービス提供責任者研修 令和3年度介護報酬改定について（オンライン）	医療経済研究・社会保険福祉協会	1	1
2月27日	体験型：暴力・ハラスメントへの基本的な対応研修 （オンライン）	公益社団法人兵庫県看護協会	1	1

3月18日	新型コロナウイルス感染症発生時の対応	神戸市介護サービス協会	1	1
-------	--------------------	-------------	---	---

相談窓口の設置（居住支援事業）

窓口	在籍スタッフ数	開設日数	相談者数
相談窓口（電話）	3	193	21
面談（来所）	6	37	16

入居前の支援（居住支援事業）

支援内容	対応件数
入居に向けた相談等	21
不動産店への同行・コーディネート	9
緊急連絡先の確保	1

入居中の支援（居住支援事業）

支援内容	対応件数
見守りサービス	2
入居後の相談	2
社会参加のための支援	2

ミーティング等（居住支援事業）

名称	在籍数	回数
居住支援担当職員ミーティング	3	9
居住支援相談事業ミーティング	7	20
居住支援ネットワーク会議（オンライン） 主催：神戸YWCA まごの手、近畿大学建築学部寺川研究室	14	7

内部研修（居住支援事業）

内容	講師等	回数	延出席者数
勉強会（生活保護）	瀬戸昭	2	16

セミナー・勉強会等の開催（居住支援事業）

開催日	内容	主催	回数	出席者数
11月25日	第1回居住支援セミナー（ハイブリッド） 講師：奥村直土（神戸市建築住宅局住宅政策課）、藤本育代（神戸すまいまちづくり公社） 発題者：塩見洋子（神戸YWCA まごの手）、村西優季（NGO神戸外国人救援ネット）、稲垣昇（kukururas 店長）	主催：神戸YWCA まごの手 協力：NGO神戸外国人救援ネット、近畿大学建築学部寺川研究室	1	23
12月16日	第2回居住支援セミナー（ハイブリッド） 講師：村西優季（NGO神戸外国人救援ネットワーク） 発題：ズオン・ゴック・ディエップ（ベトナム夢KOBE）、戎香里奈（Masayang Tahanan）、松浦亮輔（ノーヴォ・テンボ株式会社）	主催：NGO神戸外国人救援ネット 協力：神戸YWCA まごの手、近畿大学建築学部寺川研究室	1	15
1月13日	居住支援フォーラム2020（オンライン） 講師：齋藤瞳、中村朋美（アオバ住宅社） ファシリテーター：寺川政司（近畿大学建築学部准教授） 発題者：坂井宗月（中央むつみ会）、村西優季（NGO神戸外国人救援ネット）、稲垣昇（kukururas 店長）、塩見洋子（神戸YWCA まごの手）	主催：神戸YWCA まごの手 協力：NGO神戸外国人救援ネット、近畿大学建築学部寺川研究室	1	40

外部研修／他団体関係（居住支援事業）

開催日	内容	主催	回数	神戸Y出席者数（総数）
8月25日	居住支援研修会「ひょうご居住支援事業活動紹介1」 講師：村山メイ子（東灘地域助け合いネットワーク）	神戸コミュニティラボ	1	2
9月17日	居住支援法人活動等へのヒアリング調査	神戸市居住支援協議会	1	4

9月22日	居住支援研修会「ひょうご居住支援事業活動紹介2」 講師：須見恭子（花たば）	神戸コミュニティラボ	1	1
10月27日	居住支援研修会「ひょうご居住支援事業活動紹介3」 講師：宗政美穂（福祉ネットワーク西須磨だんらん）	神戸コミュニティラボ	1	2
11月6日	高齢者の住まいに関する相談窓口の 連携強化に向けた勉強会	神戸市居住支援協議会	1	1
11月24日	居住支援研修会「ひょうご居住支援事業活動紹介4」 講師：寺内真子（神戸YWCAまごの手）	神戸コミュニティラボ	1	1
12月10日	住まいでお困りの方の支援とは 「今の時代の住まいを考える」「成年後見とはどんな制度」	神戸西助け合いネットワーク	1	1
12月22日	居住支援研修会「ひょうご居住支援事業 ～みんなで考えよう外国人の住まい探し～」 講師：橋本修一（兵庫県住宅建築局住宅政策課）、 不動産事業者	神戸コミュニティラボ	1	1
1月28日	グループスーパービジョン（ひょうごん福祉ネット）	一般社団法人居住支援 全国ネットワーク	1	3
2月2日	課題別グループスーパービジョン 保証人・連絡先問題について	一般社団法人居住支援 全国ネットワーク	1	3
2月16日	課題別グループスーパービジョン サブリースについて	一般社団法人居住支援 全国ネットワーク	1	4
2月19日	令和2年度居住支援団体意見交換会 先進事例活動報告：吉田真哉（社会福祉法人やすらぎ会）	ひょうご住まいづくり協議会	1	3
3月2日	課題別グループスーパービジョン 居住生活支援（トラブル・見守り）について	一般社団法人居住支援 全国ネットワーク	1	4
3月8日	サービス付き高齢者向け住宅説明会（オンライン）	国土交通省	1	3

外部研修 / 他団体関係（全体）

開催日	内容	主催	回数	出席者数
	ひょうごん福祉ネット総会	ひょうごん福祉ネット	1	2
	ひょうごん福祉ネット定例会	ひょうごん福祉ネット	12	1

神戸YWCA 保育園

園長 梅川玲子
 保育士 平田早貴、西村映穂、西岡奈美、竹田孝子、村越彩、鎌田直子、中島ヒトミ（7月～）
 管理栄養士 須山とも子
 調理員 内田ミヤ子、奥野満枝、溝口あや（2021年2月～）

●事業方針・目標

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

●事業報告

今年度は、コロナという今までに経験したことのない状況の中、子どもたちの命を守るため、今できることに力を注いだ年であった。保護者と連携をとりながら、笑顔を絶やさず、神様からの恵みを感じながらいつもと変わらない日々を過ごすことができた。休憩時間を割いてまでも、衛生面に心を砕き、保育室を今まで以上に清潔に保った職員の働きに感謝する。

社会の動きが変わる中、在園児の移動も多く、めまぐるしく子どもが入れ替わった年でもあった。新しく始めようとした活動の多くは、実際に同じ場所に居てこそできること（地域住民との給食食事会、外部の方の見学会「小規模保育園ってどんなところ？」など）だったので、実現できることは少なかった。子どもと向き合うということは、オンラインだけでは適うものではないと感じた。

その中でも、「神戸YWCA保育園に入りたい」と0歳児が増え、例年とは異なった人数構成となった。どんな状況にあっても子どもたちが安心して遊びに夢中になっている姿を守り続ける保育園であるために、柔軟な考え方を駆使して歩み続けたい。

●保育園園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	1	1	2	3	3	3	4	4	5	6	6	6
1歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3

2歳	5	6	6	6	6	4	4	3	3	1	1	1
計	9	10	11	12	12	10	11	10	11	9	10	10

地域福祉部

代表 井上みち子 副代表：木村文子
 メンバー 7人
 担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

- ①分室の地域交流スペースとしての活用
 - ・分室の目的、情報発信のあり方（ホームページ、掲示板）。
 - ・各グループの課題をつかみ、解決に向けた取り組みを行う。
 - ・利用者の声をきき、ボランティアの協働をすすめる。
- ②情報発信誌「わいわい通信」を年1回発行とする。
- ③分室ボランティアの親睦と交流のために「互苦労さん会」を行う。

●活動報告

コロナ感染拡大により、夜回り準備会以外のグループは3月から休会を余儀なくされた。分室は、4～6月中旬まで閉館していた。

地域福祉部会は、7月に始まり12月まで5回開催。グループ活動再開の進捗状況を毎回話し合った。8月に分室のコロナ感染防止ガイドラインの確認、9月は分室の2階倉庫の片付け、10月「地域のお店くるくる」2日連続開催。

新年度、地域福祉部は総合サポートセンターに改編される。「わいわい通信」は最終発行となるため、その内容について12月に協議。コロナ禍でのグループ活動再開に向けての様々な議論や取り組みをメンバーの感想も交えて「コロナ禍の分室」を綴ることにした。この後は作業グループで行い、2月初めに冊子案を検討することにしてしたが、緊急事態宣言下で部会は中止、メンバー各自で検討したものを集約し、整えた。『わいわい通信 30号』の発行、発送は2021年6月頃となる予定。

木曜カフェは7月から第2、第4木曜日に開催。「音楽セッション」も再開。12月までは予定通り実施できた。2021年1月13日～2月末日まで緊急事態宣言が発出され、「木曜カフェ」はその間は休会し、3月11日と25日にオープンした。2020年度は開催予定のほぼ半分の13回だったが、顔なじみの方々がレコードやCD鑑賞、演奏、おしゃべりに集まったり、求める会の安心安全な乾物や調味料を買いにきたりで立ち寄ってくださった。

今年度も互苦労さん会はできなかった。

●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA分室)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
7月3日	第1回部会	2020年度の活動方針と活動計画の確認・具体化について	9	42 (全5回)	8
8月28日	第2回部会	9・10月の分室活動について	10		
10月9日	第3回部会	新組織について、秋から冬の分室活動	8		
11月9日	第4回部会	秋から年明けの活動、『わいわい通信 30号』について	7		
12月4日	第5回部会	『わいわい通信 30号』発行に向けて	8		

開催	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数
7月9日～ 12月10日の第2、 第4木曜日、 3月11、25日 (計13回)	木曜カフェ	地域の人々が気軽に立ち寄れるスペース。コーヒー、紅茶あり。安全安心の無添加調味料、乾物等の販売。カフェオープンに合わせて待合スペースでは、CD・レコード・カセットテープ等の鑑賞やおしゃべりをし、「音楽セッション」の練習やミニライブが行われた。	コーヒー、紅茶：114杯 オープンスペース来訪者数 (スタッフ含)：91(138) 待合スペースへの出店： 食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
10月22、23日 (計2回)	地域のお店「くるくる」	「使い捨てをしない、丁寧な生活」をモットーに、女性服、アクセサリー等を地域の方々と一緒に集め、チャリティ販売する。	10月22日 スタッフ4人、来訪者10人 10月23日 スタッフ4人、来訪者12人
延参加人数(全2プログラム)			113(168)

グループ

わいわいダイルム

サービス責任者 新井育子、高原佐美、川上和恵
 メンバー 4人
 担当職員 塩見洋子、寺内真子

●活動方針・目標

- ・地域の高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉等の専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。
- ・利用者、スタッフ、ボランティアが共に昼食の食卓を囲み、手づくりの食事をいただくことにより、心と体の栄養を向上させる。

●活動報告

神戸市から新型コロナウイルス感染拡大により、2020年3月から事業自粛（休止）との指示があり、その後も自粛期間が再々延長された。この間、サービス責任者が電話連絡を行い、また個別訪問して会員ボランティアの手づくりマスクを届けて喜ばれた。6月23日からは、食事なし、介護予防講座や運動・音楽教室などのプログラムなし、午前中のみ短時間でサービスを再開した。密集を避けて、2部屋に分かれて実施するなど、プログラムを工夫した。10月からは介護予防講座と運動・音楽教室のプログラム再開となった。感染予防に関するお話もあり、大変熱心に参加された。しかし歌唱等は制限があり、これまでのようなバラエティに富んだプログラムを提供できず残念である。

わいわいランチが2020年3月末にその活動を閉じたため、今年度はわいわいダイルム独自の調理体制で食事提供をすべく準備をしていた。しかし、4月から12月末までは感染防止のために食事提供がなかったため、手づくりの食事を楽しみにしておられた参加者の方は残念がっておられた。1月からは神戸市からの通達により食事提供が再開されることとなり、感染防止の観点からお弁当を業者に委託した。しかし、1月中旬に緊急事態宣言が発出されたため、食事提供は2回にとどまり、再び時間短縮の活動となった。

高齢の方は重篤になる危険性が高いため、感染予防には十分に配慮して、楽しいデイのひとときを皆で過ごせるようにと願っている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月7日	第1回わいわいダイルム	中止（新型コロナウイルス感染防止のため）		0	0
4月14日	第2回わいわいダイルム			0	0
4月21日	第3回わいわいダイルム			0	0
4月28日	第4回わいわいダイルム			0	0
5月12日	第5回わいわいダイルム			0	0
5月19日	第6回わいわいダイルム			0	0
5月26日	第7回わいわいダイルム			0	0
6月2日	第8回わいわいダイルム			0	0
6月9日	第9回わいわいダイルム			0	0
6月16日	第10回わいわいダイルム			0	0
6月23日	第11回わいわいダイルム	脳トレ	サービス責任者：新井育子	8	4
6月30日	第12回わいわいダイルム	理科実験工作	講師：井上みち子 サービス責任者：新井育子	5	5
7月7日	第13回わいわいダイルム	七夕	サービス責任者：新井育子	4	5
7月14日	第14回わいわいダイルム	折り紙	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	5	5
7月21日	第15回わいわいダイルム	クラフト	講師：青柳 正 サービス責任者：高原佐美	5	5
7月28日	第16回わいわいダイルム	絵手紙	講師：森下元子 サービス責任者：新井育子	7	4
8月4日	第17回わいわいダイルム	思い出カルタ	サービス責任者：新井育子	6	5

8月18日	第18回わいわいデイルーム	紙芝居	講師：田中和美 サービス責任者：高原佐美	7	5
8月25日	第19回わいわいデイルーム	レコード鑑賞	サービス責任者：新井育子	7	5
9月1日	第20回わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：井上みち子 サービス責任者：新井育子	6	5
9月8日	第21回わいわいデイルーム	カロムゲーム	サービス責任者：新井育子	6	5
9月15日	第22回わいわいデイルーム	輪投げ	サービス責任者：高原佐美	4	4
9月29日	第23回わいわいデイルーム	ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	5	5
10月6日	第24回わいわいデイルーム	介護予防講座：口腔の健康を保つとこんなお宝が	講師：池端伯子 サービス責任者：新井育子	7	5
10月13日	第25回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	6	5
10月20日	第26回わいわいデイルーム	手品	講師：長尾初恵 サービス責任者：高原佐美	8	5
10月27日	第27回わいわいデイルーム	干支づくり	サービス責任者：新井育子	7	5
11月10日	第28回わいわいデイルーム	介護予防講座：感染予防	講師：豊山紀子 サービス責任者：新井育子	1	5
11月17日	第29回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：高原佐美 サービス責任者：川上和恵	8	5
11月24日	第30回わいわいデイルーム	みかんアート	講師：青柳正 サービス責任者：新井育子	6	5
12月1日	第31回わいわいデイルーム	介護予防講座：高齢期に起こりやすい病気を予防しよう	講師：角田恵子 サービス責任者：新井育子	5	3
12月8日	第32回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	8	5
12月15日	第33回わいわいデイルーム	楽器演奏	サービス責任者：高原佐美	6	5
12月22日	第34回わいわいデイルーム	クリスマス会	サービス責任者：新井育子	7	6
1月5日	第35回わいわいデイルーム	介護予防講座：上手に食べて元気で長生き	講師：須山とも子 サービス責任者：新井育子	5	5
1月12日	第36回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	5	4
1月19日	第37回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：高原佐美	7	5
1月26日	第38回わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：井上みち子 サービス責任者：新井育子	7	5
2月2日	第39回わいわいデイルーム	介護予防講座：身体に良いお話	講師：山本清美 サービス責任者：新井育子	6	5
2月9日	第40回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：川上和恵 サービス責任者：新井育子	8	5
2月16日	第41回わいわいデイルーム	折り紙	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	7	5
3月2日	第42回わいわいデイルーム	介護予防講座：家庭で役立つリハビリテーション	講師：谷合公江 サービス責任者：新井育子	4	4
3月9日	第43回わいわいデイルーム	音楽教室：音楽療法	講師：高原佐美 サービス責任者：新井育子	8	6
3月16日	第44回わいわいデイルーム	絵手紙	講師：森下元子 サービス責任者：高原佐美	6	5
3月23日	第45回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：新井育子	8	5
3月30日	第46回わいわいデイルーム	カロムゲーム	サービス責任者：新井育子	8	5
延参加人数（全36回）				223	175

弓の木歌の集い



代表 橋本静子
メンバー 2人

●活動方針・目標

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。

●活動報告

例年は月1度の活動であるが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、全て休会となった。

ちやいやあらんど

代表 木村文子
メンバー 2人

●活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもをもつ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者と共に親と子どもが楽しく集える場を創る。
- ・地域や社会を知り、つながるちやいやあらんどとする。
- ・分室での異世代交流、異文化交流を楽しむ。

●活動報告

- ・ぬいぬいの会：10時～12時、水・金曜日に月1回ずつ
- ・通常オープン（おしゃべりママの会・スクラップブックングの会）：11時～14時30分（プログラムによっては10時～12時）、奇数週水曜日（第1・第3・第5）・金曜日（不定期）
- ・自粛に伴い、3～6月と子ども向けプログラムは全く開催せず。7月からおとな向け「ぬいぬいの会」を月1～2回開催、スクラップブックングも1回開催した。12月は感染者が増えたこともあり、講師にも配慮し「ぬいぬいの会」は休止。小学生中心に裁縫をする「ちくちくの会」を少人数でささやかに開催した。コロナ禍で、子どもたちの生活が制限され、おしゃべりや集まりを気楽に企画し楽しむことはできなかった。交流や居場所づくりという目標は達成できず、新しい生活様式でどんなことができるのか模索中。
- ・就園前や就学前など、年齢にとらわれない集いにすることで、子どもを通じて親を、親を通じて子どもを結んでいけたらと考えている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外神戸YWCA分室)	講師名等	活動対象者		その他		総計
			おとな	乳幼児	単発参加者	ボランティア	
7月17日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	4	1		3	8
9月23日	おしゃべりママの会		2	1		2	5
9月25日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	4	1		3	8
10月2日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	3	1		3	7
10月7日	おしゃべりママの会		2	2		2	6
10月21日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	4	2	1	3	10
10月30日	スクラップブックング	東島	4	2		3	9
11月13日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	3	1		3	7
11月18日	おしゃべりママの会		3	2		2	7
11月25日	ぬいぬいの会（布のおもちゃづくり）	阿部	4	1		2	7
12月4日	ちくちくの会（子どもの裁縫）		2	1	2	1	6
12月16日	ちくちくの会（子どもの裁縫）（神戸YWCA本館）		2	2	2	2	8
12月19日	ちくちくの会（子どもの裁縫）（神戸YWCA本館）		2	2	2	1	7
3月15日	おしゃべりママの会		2	1		3	6
3月24日	ちくちくの会（こどもの裁縫）	斎藤	6	6	6	3	21
延参加人数（全15回）			47	26	13	36	122

夜回り準備会

代表 野々村耀
メンバー 14人

●活動方針・目標

100年を考えると、戦争に協力したことを忘れられない。最後の25年は震災と救援活動から学んだことが大きかった。夜回り準備会は救援活動の中でしんどい状況にありながら救援されなかった人との共生を目指してきた。とりあえず今、目の前で困っている人を支えようと思うが、困難をもたらす原因にも目を向けたい。多くの人を貧困に追いやる新自由主義政策、特に格差の拡大、非正規労働や、ギグワークについて勉強し、労働運動についても考えたい。

実際には、夜回りを続け、必要な場合は生活保護申請（福祉事務所同行、住まいの確保）、病気治療の支援、今いる場所からの追い出しや、いやがらせなどにも取り組みたい。また、野宿という可視的な形でない、ネットカフェなどでのホームレス状態の人の問題を可視化したい。参加希望者や、支援を必要とする人とつながれる回路を作りたい。昨年はホームページを作ろうとしたが、神戸YWCAではグループ独自の独立したホームページ創設は認められないとのことなので、違う仕方を模索したい。

●活動報告

今年度は昨年度末に立てた活動計画をすべて実行した。神戸市灘区、東灘区、芦屋市において月2回の夜回りを一度も休まず実施、昼回りや居宅確保後の生活保護申請同行、冬の家（越年活動）への参加、研修としての更生援護相談所見学を行った。「神戸ソーシャルブリッジ」との協働プログラムを通じてメンバー間の意識共有を図り、中学生・高校生を招き貧困や格差の問題を語り合った。

更生援護相談所の閉鎖決定（のちに撤回）や、特定給付金問題、困窮者への公営住宅提供に関して行政へ働きかけ、新聞紙上でマスクなどの支援を呼びかけた。他団体の勉強会や炊き出しなどにも参加し、困っている人に手渡す情報カード作成に着手した。

コロナ対応に追われ、活動方針に掲げた大きなテーマには取り組めなかったが、コロナショックがあったからこそメンバーの意識が高まり、活動は活発化した。環境の変化に対応した体制づくりが今後の活動の課題である。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	夜回り先件数 ()は出会った人数	参加人数
4月11日	第1回 夜回り		4 (3)	4
4月25日	第2回 夜回り		3 (2)	3
5月9日	第3回 夜回り		4 (3)	3
5月23日	第4回 夜回り		4 (4)	3
6月13日	第5回 夜回り		3 (3)	3
6月27日	第6回 夜回り		3 (2)	3
7月11日	第7回 夜回り		5 (2)	4
7月25日	第8回 夜回り		4 (4)	3
8月8日	第9回 夜回り		3 (3)	2
8月22日	第10回 夜回り	灘、東灘地域で野宿生活をしている人の訪問活動。その人が望むようなかたちで暮らすことの手伝いをしたいと考えている	3 (2)	3
9月12日	第11回 夜回り		3 (3)	3
9月26日	第12回 夜回り		3 (3)	3
10月10日	第13回 夜回り		4 (4)	3
10月24日	第14回 夜回り		5 (3)	8
11月14日	第15回 夜回り		6 (5)	4
11月28日	第16回 夜回り		4 (4)	4
12月12日	第17回 夜回り		5 (4)	3
12月26日	第18回 夜回り		4 (4)	4
1月9日	第19回 夜回り		4 (3)	3
1月23日	第20回 夜回り	4 (4)	3	
2月13日	第21回 夜回り	5 (3)	3	

2月27日	第22回 夜回り		5 (3)	4
3月13日	第23回 夜回り		5 (3)	4
3月27日	第24回 夜回り		5 (3)	4
延参加人数 (全24プログラム)			98 (77)	84

また、不定期に夜回りの翌朝に1人、芦屋で1人を訪問している。

開催日	プログラム名 (場所)	テーマ・主な内容	出会った人数	参加人数
7月8日	更生援護相談所・更生センター見学 (更生援護相談所・更生センター)	野宿されている方の緊急避難所となっている施設の状況を見学するとともに市としての対応状況を確認する。	3	7
10月16日～ 12月12日	「ブリッジプロジェクト これからの活動・広報戦略のための活動理念の整理・言語化にチャレンジ!」(神戸ソーシャルブリッジ)	夜回り活動が大事にしてきた理念を認識し、メンバーが持つ活動への思いを共有する。	5	5
11月5日	灘中高生との対談 (神戸YWCA分室)	貧困や排除にまつわる様々な話題についての意見交換	5	4
12月27日	神戸「冬の家」越冬活動 (東遊園地)	神戸「冬の家」越冬活動に参加 (12月27日担当・おにぎり等食料配布)	109	17
2月20日	神戸ソーシャルブリッジフォーラム (オンライン)	動画(1分)による活動紹介および夜回り準備会に興味をお持ちの方との質疑応答	118	2
延参加人数 (5プログラム)			240	35

声の奉仕

代表 坂本雅子、柴田瑠実
メンバー 8人

●活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

●活動報告

毎月第4火曜日に例会と勉強会を持っている。例会では日赤声の奉仕団からの報告、神戸YWCAグループが担当する録音図書の企画、報告などの話し合いを、勉強会では酒井茂樹さんの指導のもと朗読勉強会を行っている。

兵庫県声の図書赤十字奉仕団が制作する声の月刊誌「花時計」6月号の制作を担当。毎月「PHP」担当箇所の朗読・録音および3月、8月号の編集作業、「日赤声のアルバム」発行CD製作とモニターを毎月行っている。日赤での運営委員会、デジター図書ミーティングなどに参加。録音、編集などの作業にも携わった。今年度は全員参加の60分間の短編の「つちのこ9月号」を制作した。

今年度は状況の変化などで、休刊、活動停止などがあり、発声練習、例会、勉強会など予定通りに行うことができなかったことも多かった。数回、リモートで例会、勉強会、打ち合わせなどを行った。単行図書「いいみみ」プロジェクトを立ち上げ、メンバー有志で全て自宅録音し、日赤で編集を行った。単行図書「人質の朗読会」も製作中である。

毎年恒例の利用者との交流会を11月23日に実施予定であったが今年度は中止となった(例年はリスナー、同行者、団員など約150人が参加)。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月6日	声のアルバム編集 (日赤)	声のアルバムの編集作業		2
4月13日	声のアルバム編集 (日赤)	声のアルバムの編集作業		1
4月17日	単行図書検討会 (日赤)	単行図書の検討		1
5月29日	本部役員会 (日赤)	コロナ対応、活動方針検討		1
6月7日	運営委員会 (日赤)			2
6月13日	臨時例会 (オンライン)	リモート例会		8
6月19日	単行図書検討会 (日赤)	単行図書の検討		1

7月3日	臨時役員会（日赤）	コロナ対応、活動方針検討		1
7月17日	単行図書検討会（日赤）	単行図書の検討		1
7月28日	第1回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		8
8月2日	運営委員会（日赤）			2
8月5日	声のアルバム編集（日赤）	つちのこ編集		2
8月14日	本部役員会（日赤）	リスナー名簿作成		1
8月21日	単行図書検討会（日赤）	単行図書の検討		1
9月7日	声のアルバム編集（日赤）	声のアルバムの編集作業		1
9月29日	第2回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		8
9月29日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	8
10月4日	運営委員会（日赤）			2
10月5日	声のアルバム企画（日赤）	花時計企画		3
10月6日	勉強会（日赤）	マイスタジオ操作説明		3
10月16日	単行図書検討会	単行図書の検討		1
10月27日	第3回定例会	運営委員会報告、活動方針検討		7
10月27日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	7
11月2日	デージーミーティング	アルバムのマザーチェック		1
11月27日	本部役員会（日赤）	コロナ対応、活動方針検討		1
12月5日	運営委員会（日赤）			2
2月23日	臨時例会（オンライン）	活動方針検討		7
3月23日	第4回定例会	活動方針検討		4
3月23日	定例勉強会	朗読勉強会	酒井茂樹	4
	日赤ブースでの録音（日赤）	計10回		4
延参加人数				95

カフェもぐもぐ

代表 宮田泰子
 メンバー 8人
 担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

- コミュニティーカフェオープンを目指し、少しずつ準備を始める。
- ・当事者の声を聴きながら活動を進めていく。
 - ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
 - ・仲間を増やす。

●活動報告

毎月第1土曜日の10時30分から15時までを定例の集まりとしているが、今年はコロナ感染症の影響により、運営についても未だに手探りの状況が続いている。

手紙や電話連絡などによる安否確認、6月のミーティングを経て7月からのスタートとなった。久しぶりに顔を合わせ、声を聞き、思いを伝え合ったことは大きな喜びであった。危機対応として、密にならない、食事は作らない、時間を短縮する（10時30分～13時）など、分室でできることを考えながら開催している。

当事者にとって、コロナによるこの1年間の生活の変化からくる影響の大きさを改めて考えさせられた。毎回の集まりはほとんど、それぞれの抱えるしんどさや楽しかったことなどを思う存分話すことにしている。その中から課題や、ボランティアとしてできることなどを考えることも多い。

それぞれの当事者の状況の変化に対応しながらも、若年性認知症の人と家族、仲間たちがほっとしてつながる場所、そして生きがいを持って働くことができる場所となるために、プログラム運営や必要なニーズへの取り組みなど、課題をグループで共有し、学びや働きを考えていきたい。また、広報や啓発活動、仲間を増やすための養成講座など、状況を確認しながら次年度に向けて取り組んでいきたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数					合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	
6月18日	ミーティング	緊急事態宣言発令後の 今後の活動について			5		1	6
7月4日	第1回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(一口パン)	2	1	5		1	9
8月1日	第2回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(一口パン)・輪投げ	2	1	6		1	10
9月5日	第3回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(お寿司)	1		6		1	8
10月3日	第4回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(サンドイッチ)	1		6		1	8
10月24日	第5回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(サンドイッチ)	1	1	5		1	8
11月7日	第6回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・調理・手づくりカレー	1	1	4		1	7
12月5日	第7回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(サンドイッチ)	2	1	4		1	8
1月9日	第8回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(お寿司)	1	1	4		1	7
2月6日	第9回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(一口パン)	1		5		1	7
3月6日	第10回カフェもぐもぐ	時間短縮オープン 近況報告・軽食(一口パン)	1	1	6		1	9
カフェもぐもぐ延参加人数(全11プログラム)			13	7	56		11	87

わいわい食事会

代表 井上みち子、三浦啓子
メンバー 12人
担当職員 塩見洋子

●活動方針・目標

住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で、食事を開く。

●活動報告

2020年4月上旬は、コロナ感染第1波で全国に緊急事態宣言が出ており、新食事会の活動は延期のお知らせをすることから始まった。6月には食事会のメンバーになってくださる方々とつながるために、2度目の延期を告げるハガキを届けたが、食事会が行えずに秋を迎えた。9月下旬に、旧「わいわいランチ」や「わいわい亭」のボランティアの方々の意見を聞く会を開き、年内は「茶話会」をすることにした。

10月～12月に5回、「わいわい茶話会」をコロナ「新しい生活様式」に沿って開催、10～16人の参加を得た。初回は久しぶりの再会を喜び合った。月に一度だが、集う皆さんとのつながりがお互いを元気にする、それが以前のランチや亭の活動の楽しさとやりがいに通じるように感じる。

年明けからは食事にできればと考えていた。しかし、12月には第3の大波がやって来たため、年明け1～3月は茶話会を計画していたが、結局、新年早々に再度の緊急事態宣言が発出され、1～2月も休会。しかし、3月は久しぶりに茶話会を開催することができた。

今後もコロナの状況を見ながら対応していくしかないが、会の開催ができなくとも「連絡は取り合っていく」「発信していく」ことが大切であると、コロナ禍から学んだ。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所：神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
9月18日	ボランティアであつまるう会	交流、ミーティング		11
9月25日	ボランティアであつまるう会	交流、ミーティング		5
10月16日	第1回茶話会	交流、「今どきの流行りもの」ミニ講座、 ピアノ演奏、歌唱	橋本静子 川辺比呂子	16
10月23日	第2回茶話会		〃	12
11月20日	第3回茶話会		〃	10

11月27日	第4回茶話会	交流、「今どきの流行りもの」ミニ講座、 ピアノ演奏、歌唱	〃	14
12月18日	第5回茶話会 / クリスマス会		〃	15
3月26日	第6回茶話会		〃	19
延参加人数 (全8回)				102

IV. 生涯学習・人材育成事業

神戸YWCA 学院

学院長 西本玲子

<日本語コース>

講師 福井武司 (主任)、櫻井かおり (副主任)、天川啓子、荒木真也、小川佐由理、小野木愛、貫上育代、小澤恭子、後藤範子、小林麻紀子、斎藤明子、澤村典子、清水恵子、田中いずみ、森田純一

担当職員 千葉真理子

●事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

●事業報告

在住外国人が安心して地域で暮らすために必要な日本語の教育・支援を行っている。

新型コロナウイルス感染症の拡大と、4月に発出された緊急事態宣言のため、2020年4月から12月の日本語事業の多くのプログラムが中止・休止・変更を余儀なくされた。

レギュラーコースは、I期の開始を遅らせ、期間と時間数を短縮したうえで、Zoomを利用したオンラインレッスンとした。プライベートレッスンは、一部をオンラインで行ったほかは、一時休止となった。会館外の講師派遣クラスでは、予定されていたクラスの一部が中止となった。「お母さん日本語クラス」(原則月1回、光の園幼稚園)が開講時期を延期し、「ショファイユ幼きイエズス修道会」への派遣セミプライベートレッスンは、オンラインでスタートしたうえで、緊急事態宣言解除後に対面レッスンに移行した。また、外国にルーツをもつ子どもたちを支援する夏休みの「勉強に役立つ日本語クラス」は、例年より期間を短縮したうえ、原則オンラインで行った。教科学習サポートと居場所づくりを行う「はッピー・さぼーと」(週1回予定)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、会館での開催1回、オンラインでの開催2回であった。進路や進学をサポートする「はッピー・すくーる」(年4回予定)は、開催できなかった。また、乳幼児を持つ母親が子育てに必要な日本語を学ぶ「ママの日本語クラス」(原則月2回)も開催できなかった。

仕事に使用する日本語やパソコンスキルなどの取得を目指す就労支援として、兵庫県委託事業「日本語・就業力スキルアップコース」(3カ月)は、担当講師・訓練生の協力のもと感染対策をとりながら予定通り実施した。

次世代育成特別助成(公益財団法人兵庫県青少年本部)・赤い羽根地域づくり助成(神戸市中央区社会福祉協議会)を得て、子どものオンラインプログラムの実施と教材開発に取り組んだ。

●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	I期:4月20日～7月3日	1	3	1期	2
聖書クラス	4月20日～7月3日	1	3	1期	1
プライベートレッスン	4月1日～3月31日	19	延23	-	9
お母さん日本語クラス	7月13日～3月15日(光の園幼稚園)	1	3	8	1

委託等事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
兵庫県国際交流協会（助成） 「外国人県民・児童生徒の 居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス 8月1日～8月14日	9	9	70	9
	はっぴー・さぼーと 9月12日、10月24日、12月26日	-	13	3	5
	はっぴー・すくーる	0	0	0	0
	ママの日本語クラス	0	0	0	0
兵庫県委託訓練事業（委託） 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け日本語・就業カススキルアップ コース・9月18日～12月14日	1	15	1	12
中央区社会福祉協議会 赤い羽根地域づくり助成	はっぴー・さぼーと（オンライン） 9月12日	「はっぴー・さぼーと」の オンラインプログラム実施			
公益財団法人兵庫県青少年本部 次世代育成特別助成事業	子どもトータルサポート（オンライン版） 8月～3月末	「勉強に役立つ日本語」「はっぴー・ さぼーと」のオンライン化による オンライン教材の作成			

<日本語教師養成コース>

講師 福井武司（主任）、櫻井かおり（副主任）、小川佐由理、斎藤明子、小林麻紀子、水野マリ子
担当職員 千葉真理子

●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

●事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大と、4月に発出された緊急事態宣言のため、予定されていたいくつかの講座が中止となった。

「日本語ボランティア養成講座（入門編）」を10月に開講し、計6人が受講した。

甲南女子大学、神戸女学院大学、帝塚山学院大学の日本語教育実習の受け入れを、それぞれ7月、1月、2月に行った（実習生計23人）。在住外国人延べ14人が日本語学習者として参加した。

アドバイザー派遣事業として、明石文化国際創生財団へ「日本語学習支援ボランティア養成講座」、加古川市国際交流協会「日本語講座講師ブラッシュアップ研修」への講師を派遣した。神戸市立兵庫中学校北分校、神戸市立丸山中学校西野分校、尼崎市立成良中学校琴城分校へ「日本語指導研修」の講師を派遣した。

「やさしい日本語」では、神戸市中央区社会福祉協議会の教材作成に協力し、やさしい日本語講座と地域での勉強会に講師を派遣した。

●事業実績

コース名	内容・期間 *（ ）は主催	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習受け入れ	甲南女子大学・7月27日～31日	1	9	1	-
	神戸女学院大学・1月25日～2月5日	1	12	1	-
日本語教育実習受け入れ	帝塚山学院大学・2月1日～5日	1	2	1	-
日本語ボランティア養成	入門編・10月17日～11月14日	1	6	1	2
講師派遣・ アドバイザー派遣	日本語講座講師ブラッシュアップ研修 10月4日、11日、18日（加古川市国際交流協会）	1	-	1	1
	日本語指導研修・8月17日、12月2日 （神戸市立兵庫中学校北分校）	1	-	1	1
	日本語指導研修・9月25日、28日、12月4日、1月23日 （尼崎市立成良中学校琴城分校）	1	-	1	1
	日本語学習支援ボランティア養成講座 9月5日、12日、19日、26日、10月3日、10日 （明石文化国際創生財団）	1	-	1	1
	日本語指導研修・8月17日、18日 （神戸市立丸山中学校西野分校）	1	-	1	1
	やさしい日本語講座・10月2日、17日、26日 （神戸市中央区社会福祉協議会）	1	-	1	1
	やさしい日本語講座・11月27日 （東川崎地域「やさしい日本語」勉強会）	1	-	1	1

<外国語コース>

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クローン、ポール・ボテロ、リッキー・バーネット、ドック・ケイン、プリティ・ロヘラ、土井川佳世子、鄭京淑、趙英美、日方京子、文雅炫
担当職員 秋月啓子

●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

●事業報告

レギュラーコース（英語3・韓国語1クラス）は、コロナ禍による4月7日付の緊急事態宣言を受け、4～6月中旬まで春学期の授業を休講した。オンライン授業は受講生の希望がなく実現しなかった。6月中旬より通常授業を再開、春学期は6回を開講した。冬学期より新しく韓国語入門クラスを開講した。

プライベートコースは、講師・受講生の希望を聞き、授業の持ち方を模索した。

（公財）海外子女教育振興財団（JOES）の受託事業、帰国子女のための英語保持教室は、主任講師の受託がなくなり、講師1人、1コマのみの契約となった。1学期はオンライン授業となり、神戸YWCA講師は担当を外れたが、2学期以降は講師2人、計3コマになり、オンライン授業も担当した。しかし、財団の方針として2020年度をもって神戸教室を閉じることが決まり、2021年度以降の受託はなくなった。これを受け、神戸教室の受講生を対象とした神戸YWCAでの英語保持教室を計画する。

カスタムコース、「All Together」（1クラス）は、春学期は5月中旬～6月中旬まで講師を変えオンライン授業を行い、その後対面授業を再開した。「シニア英会話クラス」（1クラス）は春学期の前半を休講とし6月中旬より対面授業を再開した。

オフキャンパスは、4～6月のコープカルチャー宝塚・英会話クラスが休講、7月から回数を減らして再開した。兵庫県英会話Dクラスは、ほとんどがZoomによるオンラインレッスンとなった。公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校より受託した英語講義は講師2人が担当予定だったが、うち1人が海外から帰国できず急遽代理講師が担当、結局4～10月の全ての授業を担当した。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義（10～1月）については、予定通り講師2人が担当した。

●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	春学期6回（英語3・韓国語1）秋学期12回（英語3・韓国語1） 冬学期12回（英語3・韓国語2）	春・秋4 冬5	16	30	春・秋3 冬4
プライベートコース	英語	3	7	延49	2
カスタムコース	英語保持クラス「All Together」	1	2	36	1
	シニア英会話	1	4	36	1
JOES	外国語保持教室（JOES委託）	3	18	36	2
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	10	20	1
	コープカルチャー宝塚（ネイティブ英会話A・B）	2	16	22	1
	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校	4	140	45	2
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	70	26	2

<地域福祉コース>

担当職員 寺内真子

●活動方針・目標

- ・地域福祉の向上を目指して、福祉人材養成および啓発を行なう。
- ・介護、福祉の専門職のスキルアップ研修を企画実施する。

●事業報告

地域福祉の向上を目指して、福祉人材養成および啓発を行なうために、居住支援セミナー等を実施した。また新型コロナウイルス感染禍のため、介護、福祉の専門職のスキルアップ研修は、参加者をまごの手職員に限定し、外部向けには行わなかった。

<文化教養コース>

講師 岩崎ひかる
担当職員 秋月啓子

●事業方針・目標

人々のエンパワメントのために文化・教養の視点から支援する。

●事業報告

神戸YWCA分室で行っていたピアノ教室は、今年度から本館に場所を変え、5階チャペルのグランドピアノでレッスンできるようになった。プライベートレッスンが基本なのでひとりずつゆっくりレッスンを受けることができる。コロナ禍でしばらく休んでいたが、7月から2人の受講生を得て第2・第4月曜日にレッスンを始めた。また、新たに月2回受講のオプションを増やし、忙しい方やゆっくり習いたい方でも通えるように工夫した。

発声・歌唱教室はグループで歌うレッスンのため、コロナ下では難しいと判断し前期の開講を見送ったが、元受講生に1対1のプライベートレッスンを勧め、ピアノ教室と同じ曜日にレッスンを組み込むことができた。元受講生2人、新規1人が月1～2回のペースでプライベートレッスンを受けている。

●事業実績

コース名 (神戸YWCA本館)	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師
ピアノ教室	プライベートレッスン		2	延31	岩崎ひかる
発声 & 歌唱教室	プライベートレッスン		4	延31	岩崎ひかる

グループ

愛農人倶楽部

代表 大石知世子
メンバー 3人

●活動方針・目標

活動方針：完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。

活動目標：・定例会として、毎月約1～2回、道場の風キャビン農園にて農作業を実施、季節の野菜を作り収穫する。

- ・メンバー募集とビジター参加者を募集
- ・畑とプラスαの倶楽部の活性化

●活動報告

4月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が出たことで活動は休止となり、新規ビジターは募集せず、昨年のみで先が見えない中、活動することになった。5月には1度、車のあるメンバー1世帯のみで畑作業へ行った日もあったが、野菜が収穫できずに枯れてしまうこともあり、残念でならなかった。なかなか会えない皆さんと話し合いをと、リモート懇親会を2回実施した。画面上でおとなも子どもも楽しく話ができてよかったと思う。8月～11月まで手探りで定例会を実施した。朝には自宅で検温をしてもらい、作業ではマスクをして密にならないよう少し意識し、軍手を必ず着用しての定例会だったが、参加された皆さんの顔がとても和み、リラックスしている感じで、子どもは久しぶりに畑で友だちと再会できたことにはしゃぎ、とても嬉しそうだった。夏はマスクが暑くて熱中症になりかけた時もあったが、手探りででも活動できたことはとてもよかったと思う。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
5月4日	リモート懇親会 (オンライン)	みなさんの近況、ステイホーム中のマイブーム、畑の今後の話し合い	12
5月17日	リモートミーティング (オンライン)	畑に車でいったメンバー家族から畑の様子を発表と今後の話し合い	6
8月10日	第1回定例会 (道場) イベント：大麦の糶摺り体験と人参収穫	夏野菜の世話、草刈り、整地、収穫 (人参、かぼちゃ、ピーマン、ナス、ししとう)	8
8月30日	第2回定例会 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	大雨のため収穫のみ (トウモロコシ・トマト・キュウリ・スイカ・パプリカ・じゃがいも)	5
10月11日	第3回定例会 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	雑草刈りと畝づくり、苗植え付け (イチゴ、ブロッコリー、キャベツ)、小松菜種蒔き、収穫 (ナス、コスモス、ピーマン、ししとう)	5
11月8日	第4回定例会 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	大麦種蒔き、玉ねぎ植え付け、小松菜間引き、収穫 (ナス、ピーマン)	9
12月～3月	新型コロナウイルス感染症関連で活動休止		0
延参加人数 (全6回)			45

アフタヌーン・ティー

休会中

文学講座

代表 中尾廣美
メンバー 5人

●活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・清少納言の「枕草子」を完結まで読む。

●活動報告

例年は、毎月（8月を除く）第3火曜日13時30分より神戸YWCA本館で実施しているが、今年はコロナの影響で3回のみ実施となった。笠原芳光さん（元・京都精華大学学長、理事長）が始められた講座であるが、亡くなられた後もメンバーで自主勉強している。清少納言の「枕草子」を読み継いでいる。読み合っ、いろいろの本から解釈を学んでいる。自由な意見の交換もあり、「生き方」や生活を学んでいる。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月21日	第1回文学講座	休会（新型コロナウイルス感染防止のため）		0
5月19日	第2回文学講座	〃		0
6月16日	第3回文学講座	〃		0
7月21日	第4回文学講座	〃		0
9月15日	第5回文学講座	〃		0
10月20日	第6回文学講座	枕草子 153段～160段	メンバーで自主勉強	4
11月17日	第7回文学講座	枕草子 160段～161段	メンバーで自主勉強	5
12月15日	第8回文学講座	休会（新型コロナウイルス感染防止のため）		0
1月19日	第9回文学講座	〃		0
2月16日	第10回文学講座	〃		0
3月16日	第11回文学講座	枕草子 162段～177段	メンバーで自主勉強	4
延参加人数（全3プログラム）				13

マザースカレッジ企画会

代表 貫名裕子
メンバー 7人

●活動方針・目標

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、おとなが本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会、講演会を実施する。
- ・活動を通して得た力をもとに、共に社会を変える一歩を踏み出す。

●活動報告

2020年は世界的なコロナ禍により、様々な活動が制限された1年だった。3月頃よりマザースカレッジの活動も一時中止になり、秋以降に再開された。今後もコロナの状況により予定が変更される事も考えておきたい。

- ①ストーリーテリング研究会：大月ルリ子先生研究会は、登録27人。9月から11月まで3回済。1月以降の未消化予定は2021年度に繰り越し。芦田悦子先生研究会は、登録21人。9月、11月、3月に3回済。今年度の未消化予定は2021年度に繰り越し。
- ②真生塾は毎月の予定だが、今年度はコロナにより活動できず。次年度は状況により再開。
- ③2020年1月～3月に予定していた正置友子先生の公開講座(全3回)は、2020年2月と、年度をまたいで9月、10月に実施した。中断にもかかわらず多くの受講者が熱心に参加した。定員の変更により神戸YWCA

本館から青少年会館に会場を変更し、対応に迫られた。開催日が変更になり欠席の人のために、先生のご好意でビデオ撮影を行い、神戸YWCAのYouTubeに載せて視聴してもらった。皆の知恵と対応力で何とか乗り越えられた。

●活動実績

ストーリーテリング芦田先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
9月28日	第1回	『ストーリーテラーへの道』3章	無し	23
11月30日	第2回	『ストーリーテラーへの道』3章	芦田悦子	16
3月22日	第3回	『ストーリーテラーへの道』第4・5章 「オデュッセイア」「ワンダブック」	芦田悦子	19
延参加人数(全3プログラム)				58

ストーリーテリング大月先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
9月25日	第1回定例会	『ストーリーテラーへの道』第7章 今後についての話し合い	大月ルリ子	23
10月23日	第2回定例会	『ストーリーテラーへの道』第8章「長い冬」 2章3章の発表『ギリシア神話』の学習	大月ルリ子	25
11月27日	第3回定例会	『ストーリーテラーへの道』10章「寺町三丁目十一番地」 「妖精のキャラバン」「キツネどんのおはなし」の学習	大月ルリ子	22
延参加人数(全3プログラム)				70

神戸真生塾

開催日	プログラム・イベント名 (神戸真生塾)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
コロナにより中止					

わいわい科学クラブ



代表 井上みち子
メンバー 3人

●活動方針・目標

- ・身近な題材で科学的実験や物づくりを体験する「わいわい科学クラブ出前教室」の活動を行う。
- ・出前教室で取りあげる実験や物づくりプランを整えるなど「わいわい科学クラブ出前教室」の態勢を作る。ホームページを作り直し、外部にも発信したい。
- ・「わいわいダイルム」や「はッピーすくーる」に出向き、高齢者や外国にルーツを持つ子どもたちに実験や物づくりの楽しさを知らせる。

●活動報告

コロナ禍で、ほぼ活動がなくなった。
夏の大阪YWCAミニスクールへの出前も打ち合わせ会をしたが、当日はコロナ第2波の最中で中止となった。6月中旬から、分室の「わいわいダイルム」が午前中のみ開かれるようになり、6月に「ペットボトル空気砲」、9月に「分光シートのキラキラ万華鏡」、1月に「うごく紙工作」を3～4人ずつに分かれて2回ずつ行った。利用者には楽しんでいただけたと思う。
通常の集まりが持たれなければ、出前の声もかからない。コロナが収まるまでゆっくり待ちたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数	科学クラブ サポーター参加人数	出前先サポーター 参加人数
6月30日	わいわいダイルム出前①	ペットボトル空気砲	5	1	3
9月1日	わいわいダイルム出前②	分光シートのキラキラ万華鏡	6	1	2

1月26日	わいわいダイルーム出前③	うごく紙工作 3種	7	1	1
延参加人数 (全3プログラム)			18	3	6

V. 活動共通事業

運営委員会

会 長	野村春美
副会長	岩切幸子、木村文子
会 計	金本美子
書 記	福田百、東根順子
担当職員	西本玲子

●活動方針・目標

100周年以降の神戸YWCAの活動全体の中で、会員活動が社会変革を目指す市民運動としての役割を担えるように、その役割と活動を明確にし、具体化する。

●活動報告

2020年度の運営委員会は新しく2人のメンバーが加わり6人でスタートした。コロナ禍の中、会員が知恵と工夫を凝らして活動を継続してくれたことに感謝する。会員同士のつながりを少しでも保てたらと、5月にはZoomカフェを2回行った。

2020年3月の定期会員集會にて、「会員活動の取り組むテーマ(部)の見直しと再構築に取り組み、2021年度以降に新しい会員組織をスタートさせることを目指す」を提案、書面決議で承認されたことを受けて、新会員組織のあり方について討議してきた。9月、11月、12月、1月には、会員と共に新組織での会員活動の取り組む課題をあげ、プロジェクトづくりのワークショップを開催した。2月には議案説明会を開催。3月13日の第101回定期会員集會においては、同会員新組織について承認を得た。

日本YWCAの「LA(Local Action)」第2期最終年にあたり、その総仕上げの1年ともなった。テーマの一つ「運営委員研修」では、キリスト教基盤部の協力のもと、キリスト教基盤の神戸YWCAが大切にしている言葉出しを行った。もう一つのテーマ「ユースエンパワーメント」では、11月に「神戸YWCAユースの『神戸Yの歴史を聞く』」を開催し、2人の若い会員の話聞き、神戸YWCAユースエンパワーメントを考えるための示唆を受けた。

オンライン開催となった日本YWCA全国会員総会での各市YWCA紹介では、未来のユースである子どもたちが、ファンディング実行委員会のチャリティードリップコーヒーとはちみつのギフトボックス紹介を行った。Y's Wonderful Women 賞には長年の会員活動を讃え会員の佐伯かをるさんを推薦し、賞を受けられた。

●活動実績

開催日	委員会 (付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
3月30日	第1回運営委員会	年間スケジュール確認、委員会の進め方、役員選出、運営委員の役割分担、委員会日程決定、部・プロジェクト勧誘チラシ、コロナ対応の確認	5	79 (全14回)	5
4月11日	第2回委員会 (オンライン)	日本YWCA ミッション・ビジョン・バリュー、2019年度運営委員会事業報告の確認、会員新組織(今後の進め方)、LAからの課題(タスク1運営委員研修の内容)、つながるメール、ボランティア説明会	6		
5月9日	第3回委員会 (オンライン)	新グループ設立(ジェンダーグループ)、中央委員会へ向けて日本YWCA ミッション・ビジョン・バリュー、各部メンバー募集の進捗、コロナ禍でのつぶやき共有(Zoomカフェ&ナイト開催)	6		
6月13日	第4回委員会 (オンライン)	コロナ禍での部会およびグループ活動の活動報告、新組織(今後の進め方、9月以降のワークショップ開催とその内容) *運営委員研修「組織」	5		
7月11日	第5回委員会	新組織ワークショップ(9月)の検討、LA(タスク1、タスク2)今後の取り組みと共有、日本YWCA会則改正、 *運営委員研修「部、グループ、プロジェクトとは?」	6		

8月22日	第6回委員会 (オンライン)	LA報告共有、会員新組織ワークショップ(当日役割、内容確認、コロナ対策など)、日本YWCA会則改正承認	6	
9月5日	第7回委員会	秋バザー、全国会員総会(参加者、議事承認、その他プログラム)、新組織ワークショップの内容確認およびスケジュール確認など	6	
10月10日	第8回委員会	会員新組織(各部の反応、組織図検討、部に入っていない会員との共有方法、再提案の方法など)	6	
11月14日	第9回委員会	会員新組織(各部・グループの反応共有、提案書検討、11月21日再提案説明会の内容、タイムスケジュールなど)、2021年度神戸YWCAビジョンと目標の決定など	6	
12月7日	第10回委員会	ジェンダーグループアンケート、LA報告と共有、会員新組織(再提案説明会の振り返り、プロジェクトづくりワークショップなど)、2020年度運営委員会報告および2021年度計画、定期会員集会(議案説明会、コロナ禍での開催方法)	5	
1月9日	第11回委員会	LA報告と共有、会員新組織(各部の反応共有、組織図検討、プロジェクトづくり)、2020年度運営委員会報告および2021年度計画、定期会員集会(コロナ禍での開催方法)	6	
2月6日	第12回委員会 (オンライン)	会員新組織(各プロジェクト内容、組織図およびネーミング、運用ルール等の確認)、議案説明会、会員新組織の提案書、定期会員集会関連資料の承認、定期会員集会での役割分担と各内容の確認など	5	
3月1日	臨時運営委員会	議案説明会振り返り、定期会員集会での各担当の発表内容の確認、当日タイムスケジュールの確認	5	
3月26日	新旧運営委員会 (本館およびオンライン)	次年度への引き継ぎ事項、役員選出、役割分担の決定など	6	

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	参加人数
5月16日	Zoomカフェ&ナイト (オンライン)	コロナ感染禍、近況を聞かせてください!(会員向け) 15:00~16:30/19:00~20:30の2回開催	延14
9月5日	新組織づくりワークショップ 神戸YWCA第2世紀への 第一歩を踏み出そう	会員活動の取り組むテーマの見直しと再構築 「取り組みたい社会的課題」「神戸YWCAの目指す社会」 「神戸YWCAの中で感じる課題、不満、もっとこうだったら いいのに!」を吐き出そう	18
11月21日	会員新組織説明会 (本館およびオンライン)	会員新組織提案、および質疑応答 プロジェクトづくりをやってみよう	14
12月5日	会員新組織プロジェクトづくり ワークショップ1	各委員会のテーマに関心のある会員が集まり、 プロジェクトづくりに着手	8
12月19日	会員新組織プロジェクトづくり ワークショップ2	ワークショップ1の内容をさらに具体的に検討	9
1月23日	会員新組織プロジェクトづくり ワークショップ3	プロジェクト決定	9
2月27日	会員新組織議案説明会	定期会員集会の議案「会員新組織」の説明と 質疑応答	11
3月13日	第101回定期会員集会 (本館およびオンライン)	理事会報告、2020年度事業報告・会計報告、会員新組織、 2021年度事業計画・予算、2021年度運営委員・指名委員選出、 2021年度標語聖句決定	37 委任状54
	日本YWCA「地域YWCAを主体とした活動(LA)第II期」連携事業: 会員のパワーアップ計画第2弾 4市YWCA(京都・大阪・名古屋・神戸) での取り組み	タスク1: 運営委員の研修モデルづくり、および組織理解促進 全4回(6/21, 9/6, 11/3, 1/10) タスク2: 地域YWCAが若い女性のセーフスペースとリーダーシ ップ養成に関するビジョンと事業計画を持つ 全3回(6/28, 10/11, 12/13)	延145
8月31日	キリスト教基盤の神戸YWCAが 大切にしていること ~ことば出しワークショップ	ワークショップ1: あなたはなぜYWCAに長年かかわっていますか ワークショップ2: キリスト教基盤のYWCAが大切にすることはなに?	10
11月5日	神戸YWCAユースの 「神戸YWCA史」を聴こう! (オンライン)	神戸YWCAの2人のユース会員に「神戸YWCAと出会った時」 「部などメンバーになった時」「運営委員になった時」 「YWCAを去りたくなった時」などの場面でのきっかけ、 支え、モチベーションについて聞く	8
延参加人数(全11プログラム)			337

定期会員集会準備会

代表 川関敏恵
 メンバー 6人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

会員活動の意思決定機関である定期会員集会が滞りなくかつ適正に開催されるよう、準備・運用を行う。

●活動実績

開催日	委員会 (付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
12月14日	第1回委員会	第100回定期会員集会の振り返り、今後のスケジュール確認、当日役割確認と候補者など	6	51 (全8回)	6
1月15日	第2回委員会	定期会員集会当日担当者の確認、スケジュール確認、オンライン定期会員集会の進め方確認	6		
	校正作業	議案資料の内容確認と校正作業	3		
1月25日	第3回委員会 (本館およびオンライン)	定期会員集会当日担当者の決定、出欠ハガキ内容確認、今後のスケジュール確認など	7		
2月1日	発送作業	出欠ハガキ、議案資料発送準備	6		
2月20日	発送作業	議案資料発送作業	4		
3月3日	定期会員集会準備	当日進行確認	4		
3月8日	定期会員集会リハーサル (本館およびオンライン)	オンライン集会のリハーサル	15		
3月13日	第101回定期会員集会	* 運営委員会欄に記載			

指名委員会

代表 小野木愛
 メンバー 5人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

定期会員集会に向けて、会員の中から運営委員および指名委員を指名する。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA本館およびオンライン)	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
11月7日	第1回委員会	7	27 (全4回)	6
11月30日	第2回委員会	7		
12月21日	第3回委員会	7		
1月12日	第4回委員会	6		

会員委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 4人
 担当職員 西本玲子

●活動方針・活動目標

神戸YWCAが100周年を迎えるにあたり、長年活動されてきた会員の方から思いを語って頂く集いを開催する。

●活動報告

思いがけないコロナ禍の中でも、委員会は7月から12月まで4回行うことができた。昨年に引き続き、第2回「神戸YWCA 100年 思いをつなぐ会」は、コロナ禍が下火の9月末に開催した。前回と同じく30人の参加があり、和やかな会であった。今後、これまでお話しくださった4人の会員の方の話を冊子にしてまとめたい。

100周年関連プログラムとして開催していた「思いをつなぐ会」もここで一度終わることになった。ただ、シニア会員の集まる場が年々少なくなっていることから、今後も年に数回、シニア会員が語り、他世代とも共有できるような場づくりができたらと思う。また会員への誕生日カード発送を継続する。

●活動実績

開催日	ミーティング (付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
7月1日	第1回委員会	2019年度「思いをつなぐ会」のテーブル起こしについて、第2回「思いをつなぐ会」の内容協議	5	18 (全4回)	4
9月9日	第2回委員会 (オンライン)	第2回「思いをつなぐ会」内容決定、講演者など	4		
9月30日	第3回委員会	第2回「思いをつなぐ会」振り返り、講演録	4		
12月16日	第4回委員会	講演録の件、2021年度活動計画など	5		
1月27日	第5回委員会	新型コロナウイルス感染防止のため中止	0		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
9月26日	第2回 神戸YWCA100年 思いをつなぐ会	神戸YWCAが創立100周年を迎えるにあたり、シニア会員の方々に、神戸YWCAに関わって活動を積み重ねた中で一番話しておきたいことを語って頂く	佐伯かをる 中尾廣美	30
延参加人数 (全1プログラム)				30

100周年記念事業実行委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 全体メンバー4人、プロジェクトメンバー4人
 担当職員 秋月啓子、西本玲子

●活動方針・目標

神戸YWCAは2020年3月に創立100周年を迎えた。創立100周年記念事業全体の企画・運営を行う。

●活動報告

100周年記念事業は、2019年度から記念式典、記念募金、記念事業、記念誌の4つのプロジェクトに分けてスタートした。2020年2月から、思いがけぬ新型コロナウイルスの感染が蔓延。各プロジェクトはオンラインを活用しつつ協議を継続し、全体委員会は8月からの開催となった。

記念募金プロジェクトは、2020年度も継続してご協力をお願いし、2020年度中に目標額以上のご寄付をお寄せいただくことができた。会員・会友、賛助員をはじめ、内外の多くの方々の温かいご支援とご協力に心から感謝している。

記念事業プロジェクトは 記念グッズとして100周年記念クリアファイルを作成、ファンドの一環とした。加えて「平和の旅・韓国旅行」も計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、韓国旅行の開催そのものを延期することとなった。

記念式典プロジェクトは、日本基督教団神戸聖愛教会のご協力のもと、2021年3月20日(土)、同教会を会場にYouTubeライブ配信による「オンライン式典」として開催した。記念誌プロジェクトが数年をかけてまとめてきた創立(1920年)以降の歴史と震災以降の近年の歴史、そして、内外からいただいた祝辞映像をひとまとめにして、パワーポイントによる映像資料を作成した。顔と顔を合わせての式典開催はならなかったが、全国や世界の神戸YWCAに連なる方々にオンライン上で参加いただくことができた。

記念誌プロジェクトは、100年の歴史をまとめる作業が2021年度に引き継がれる。

●活動実績

開催日	プログラム(場所)	参加人数
3月7日	式典リハーサル(神戸聖愛教会)	16
3月20日	神戸YWCA創立100周年記念オンライン式典 (神戸聖愛教会)	総視聴者:93人 会場参加:6人 スタッフなど:27人

開催日	ミーティング (付記以外神戸YWCA 本館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数 (全回数)	平均 参加 人数
＜全体委員会＞					
8月31日	第1回委員会	各プロジェクトの進捗報告と共有	6	36 (全5回)	7
10月26日	第2回委員会	各プロジェクトの進捗報告と共有	6		
12月21日	第3回委員会	記念誌プロジェクト、式典プロジェクトの報告と共有	6		
1月16日	第4回委員会	式典プロジェクトと合同ミーティング (式典挨拶状の件 / 式典プログラムの件 / 役割分担)	9		
2月22日	第5回委員会	式典プロジェクトと合同ミーティング (式典プログラムの 確認、調整、スケジュール、式典後の作業について検討)	9		
＜事業プロジェクト＞					
4月22日	第1回ミーティング (オンライン)	クリアファイル用途先の確認、韓国旅行企画延期について	5	10 (全2回)	5
5月13日	第2回ミーティング (オンライン)	クリアファイル用途先決定、韓国旅行企画その後	5		
＜記念誌プロジェクト＞					
6月9日	ミーティング	今後の進め方など	3	69 (全28回)	2
6月24日、 7月7日、 14日、22日	編集作業	神戸YWCA 定期総会資料で年表を検証	3		
7月28日、 8月4日、 18日、26日、 9月8日、 16日、29日、 10月14日、 21日			2		
11月4日、 18日、12月 9日、23日、 3月10日			2		
11月25日、 12月2日、 16日、1月 13日、3月 3日、17日			3		
2月10日、 17日	編集作業	日本YWCA 機関紙の原稿作成	3		
2月12日			2		
＜式典プロジェクト＞					
5月2日	第1回ミーティング (オンライン)	式典プロジェクトの経緯と進捗確認、当日プログラム検討	5	58 (全11回)	5
6月27日	第2回ミーティング (神戸聖愛教会)	会場教会との意見交換 (コロナ禍での方針や対応等)	5		
7月6日	第3回ミーティング	式典開催の有無および開催方法の協議と決定	5		
7月28日	第4回ミーティング (神戸聖愛教会)	オンライン式典のプログラム内容協議	6		
8月17日	第5回ミーティング	オンライン式典の詳細内容検討、 作業および外部案内のスケジュール確認	4		
9月14日	第6回ミーティング	オンライン配信の検討と共有、作業スケジュールの確認	6		
10月6日	第7回ミーティング	オンラインプログラム全体のシナリオ、出演者	5		
10月17日	第8回ミーティング (神戸聖愛教会)	オンライン配信の技術的な確認	4		
10月26日	第9回ミーティング	記念誌チームとの内容、作業のすり合わせ	8		
11月16日	第10回ミーティング	シナリオ作成作業、担当者など役割分担の検討	5		
12月19日	第11回ミーティング	式典パワーポイント進捗状況確認など	5		
以降は全体委員会に合流					

キリスト教基盤部

代表 宮田泰子
メンバー 9人
担当職員 西本玲子

●活動方針・目標

標語聖句が具体的に会員に浸透するような働きを考える。

●活動報告

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、キリスト教基盤部の活動も感染への対策を考えながらの1年となった。標語聖句が会員にとって身近になること、それぞれの活動に生かされ強められることを願って、今年度も会館内各階や分室に標語聖句の色紙を掲示した。

会員クリスマス、世界祈祷日、イースターなど多くの参加型プログラムが中止になったが、11月10日の神戸YMCA/YWCA合同祈祷週礼拝は、神戸YMCA会館チャペルにおいて時間短縮と簡素な礼拝形式のなか開催できた。世界的な危機の中、「希望の光：実践的霊性を通じてつくる、生き延びる力を持った社会」をテーマに、山本知恵さん（京都YWCA総幹事）より、京都YWCAの自立支援ホーム「カルーナ」での実践を通して学ぶ機会となった。

通常プログラムの開催は難しかったが、部会の中で多くのことについて確認したり話し合うことができた。8月31日には運営委員会と協働して、4市YWCAで取り組む「LA（Local Action）」からの課題「キリスト教基盤であるYWCAが大切にしている言葉出し」合同ミーティングを開催。キリスト教基盤をわかりやすく捉えるための言葉出しに挑戦した。関わる全ての人がYWCAのキリスト教基盤を体感できるように今後の活動に生かしていきたい。

また、クリスマスの喜びと感謝を伝えるために、今年の神戸YWCAグリーティングカードは、基盤部がデザイン作成に参加して送付することができたことを喜ぶたい。

基盤部のプログラムは長年にわたって続けられてきたキリスト教行事、特に他団体との協働プログラムも多く、時代と共にそれぞれの団体の関わり方や活動方針も変化してきている。次年度は神戸YWCAの基盤部が大切にしたいこと、必要なことなどを検討しながら、新たな取り組みをしていきたいと考えている。

●活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
7月13日	第1回部会	代表選出、活動計画・予算の確認、今年度のプログラム検討	9	57 (全7回)	8
9月14日	第2回部会	プログラムの企画（世界YMCA/YWCA合同祈祷週、クリスマス）について	9		
10月12日	第3回部会	プログラムの企画（世界YMCA/YWCA合同祈祷週、クリスマス）について、会員新組織の提案について意見交換	9		
11月10日	第4回部会	世界YMCA/YWCA合同祈祷週振り返り、グリーティングカードデザイン案検討、神戸YWCAクリスマスについて	7		
11月19日	作業	地域YWCAへのクリスマスカードづくり	8		
11月30日	作業	会館クリスマス飾り（アドベント～2021年1月）クリスマスカード発送準備	7		
12月22日	第5回部会	2020年度活動報告、2021年度活動計画・予算、神戸市民クリスマス、クリスマス献金の件、イースター、世界祈祷日	8		
1月15日～24日		2020年度活動報告・2021年度標語聖句候補の決定 (新型コロナウイルス感染防止のため、メールと電話で実施)			

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
8月31日	言葉出しワークショップ	YWCAがキリスト教基盤組織であることへの理解を進めるための言葉出し	キリスト教基盤部 運営委員会	10
11月10日	世界YMCA/YWCA合同祈祷週 合同礼拝（神戸YMCA）	「あっち側の私、こっち側の彼女」	山本知恵 (京都YWCA総幹事)	28 (YW 17)
11月10日	合同祈祷週講演会 (神戸YMCA)	京都YWCA活動報告 (自立援助ホーム「カルーナ」について)	山本知恵 (京都YWCA総幹事)	10 (YW 9)
12月	神戸YWCAクリスマス	クリスマス礼拝と祝会	新型コロナウイルス 感染防止のため中止	
12月	神戸市民クリスマス	神戸市内の教会・キリスト教団体をつなぐ エキュメニカル運動	新型コロナウイルス 感染防止のため中止	
3月5日	世界祈祷日（在日大韓川西 教会・オンライン）	共通のテーマに沿って、教会に集う 世界中の女性が共に祈り合う礼拝	李重載（在日大韓 川西教会牧師）	
4月5日	神戸YMCA/YWCAイースター	イースター早天礼拝	新型コロナウイルス 感染防止のため中止	

グループ

讃美歌を歌おうかい



代表 中尾廣美、大工原則子
メンバー 6人

●活動方針・目標

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

●活動報告

例年、毎月第1木曜日15時～16時まで、神戸YWCA本館チャペルで楽しく歌い、また神戸YWCAのクリスマスや会員のキックオフミーティング等で披露する機会を持ってきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症のため3月から休会し、年度内に開催することはできなかった。次年度からスタートできることを願う。

聖書を読む会



代表 中尾廣美、大工原則子
メンバー 5人

●活動方針・目標

聖書の学びにより、イエス・キリストの愛と平和が広がるように願う。

●活動報告

毎月第1木曜日13時30分～15時まで、講師により聖書マタイによる福音書を読んできたが、新型コロナウイルス感染症により、2020年3月から定例会を行うことができなくなった。7月2日にメンバーが集まり、今後についての話し合いの時を持った。神戸YWCAの基盤であるキリスト教をより理解し、活動が続けられるよう努力していきたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名(場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
7月2日	ミーティング(神戸YWCA本館)	同会の今後の進め方についての協議	なし	7
延参加人数(全1プログラム)				7

VI. 広報・ファンドレイジング

機関紙編集部



代表 野村春美
メンバー 2人
担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

●活動報告

神戸YWCAが創立100周年を迎えた今年、新しい組織づくり、コロナに関連する記事を多く掲載することになった。一面記事は4・5月号「2020年度は神戸YWCA創立100周年YEAR!」(鶴崎祥子・神戸YWCA創立100年記念事業実行委員長)、6・7月号「コロナ禍の100年目」(平山芳子・公益財団法人神戸YWCA理事長)、8・9月号「コロナ禍で女性がおかれている状況について」(正井禮子・認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ代表)、10・11月号「神戸YWCAの居住支援事業」(寺内真子・神戸YWCAまごの手所長)、12・1月号「世界をつなぐために」(小栗献・日本基督教団神戸聖愛教会牧師)、2・3月号「なぜYWCAはユース・エンパワーメントに取り組むのか」(日本YWCA会長・藤谷佐斗子)。コロナ禍

で会員活動が制限されたり、中止となったりして活発な活動報告・予告が掲載できなかつた中、つながることの大切さ、工夫しながらの活動の様子などは掲載できた。

●活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
4月27日	第1回部会	4・5月号振り返り、6・7月号企画	4	21 (全6回)	3
6月22日	第2回部会	6・7月号振り返り、8・9月号企画	4		
8月24日	第3回部会	8・9月号振り返り、10・11月号企画	3		
10月9日	第4回部会	10・11月号振り返り、12・1月号企画	4		
12月14日	第5回部会	12・1月号振り返り、2・3月号企画	3		
2月15日	第6回部会	2・3月号振り返り、4・5月号企画	3		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	参加人数
4月5日	4・5月号作業	最終校正	3
4月8日	4・5月号作業	発送	6
5月18日	6・7月号作業	生原稿チェック	4
5月25日	6・7月号作業	レイアウトチェック	4
6月1日	6・7月号作業	最終校正	4
6月8日	6・7月号作業	発送	6
7月13日	8・9月号作業	生原稿チェック	4
7月20日	8・9月号作業	レイアウトチェック	4
7月27日	8・9月号作業	最終校正	4
8月3日	8・9月号作業	発送	5
9月14日	10・11月号作業	生原稿チェック	4
9月23日	10・11月号作業	レイアウトチェック	4
9月38日	10・11月号作業	最終校正	4
10月5日	10・11月号作業	発送	5
11月16日	12・1月号作業	生原稿チェック	3
11月24日	12・1月号作業	レイアウトチェック	3
11月30日	12・1月号作業	最終校正	4
12月7日	12・1月号作業	発送	6
1月18日	2・3月号作業	生原稿チェック	3
1月26日	2・3月号作業	レイアウトチェック	3
2月1日	2・3月号作業	最終校正	3
2月8日	2・3月号作業	発送	5
3月22日	4・5月号作業	生原稿チェック	3
3月30日	4・5月号作業	レイアウトチェック	3
延参加人数 (全24プログラム)			97

ファンドレイジング実行委員会

代表 齋藤明子
 メンバー 3人
 担当職員 秋月啓子

●活動方針・目標

- ・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・マネジメントの視野をもったファンド・広報を考える。

●活動報告

今年度はコロナの影響により、対面での活動が大きく制限され、予定した活動はほとんど実施できなかった。その中で、ミーティングはオンライン会議の形をとりつつ、9回実施した。

継続して販売の向上を目指した「YWCAオリジナルチャリティー・ドリップコーヒー」は、上半期は本館での販売が激減し、賞味期限が迫ったために、会員や日ごろ支えてくださっている関係者に届けた。下半期は新しく注文したコーヒーと「はるいさんの天然はちみつ」のセットを、クリスマス仕様で販売した。

「箏・フルートコンサート」はオンラインでの開催も考えてみたが、次年度へ持ち越しとなった。また、「相楽園泡立てコーヒーの会」、恒例の神戸YWCAバザーも実施できなかった。

しかし、11月と12月の2回、オンライン講座「容子の台所～発酵食で免疫力をアップしよ～！」が実施できたことは、新しい試みとして希望が持てる。またはちみつ販売も好評である。

その他の物品販売として、コストコ商品から数点、また手織りマフラー（大阪YWCA有志の寄付）などの販売も行っている。

コロナ禍の終焉は見えないものの、できる形でのファンド活動を模索していきたい。

●活動実績

開催日	ミーティング (付記以外神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月23日	第1回委員会 (オンライン)	メンバー紹介と代表選出、箏・フルートコンサート、相楽園泡立てコーヒーの会、本館バザー、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売	3	32 (全9回)	3
7月28日	第2回委員会 (オンライン)	箏・フルートコンサート、相楽園泡立てコーヒーの会、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ、コストコ商品販売、オンライン料理講座	4		
8月25日	第3回委員会 (オンライン)	箏・フルートコンサート、相楽園泡立てコーヒーの会、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、オンライン料理講座、バザー中止	4		
9月30日	第4回委員会 (オンライン)	オンライン料理講座「容子の台所」、箏・フルートコンサート、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、本館自転車置場の活用	3		
11月9日	第5回委員会	オンライン料理講座「容子の台所」、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売	3		
12月11日	第6回委員会	オンライン料理講座「容子の台所」、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ、オリーブ塩漬販売、2020年度活動報告と2021年度の活動計画・予算	4		
1月8日	第7回委員会 (オンライン)	2020年度活動報告と2021年度の活動計画・予算、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、コストコメンバーシップ	3		
2月16日	第8回委員会 (オンライン)	2020年度活動報告と2021年度の活動計画・予算、ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、コストコ商品販売、インスタライブ、ちくちくのワッペン	4		
3月23日	第9回委員会 (オンライン)	ドリップコーヒー・春井さんのはちみつ販売、コストコ商品販売、運営委員会との連携、次年度への申し送り	4		

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月20日	オンライン講座 「容子の台所～発酵食で免疫力をアップしよ～！」	第1回「あまざけ」	西岡容子	21
12月4日	オンライン講座 「容子の台所～発酵食で免疫力をアップしよ～！」	第2回「大豆を使った発酵食」	西岡容子	14
延参加人数（全2プログラム）				35

VII. 法人

理事会

理事長 平山芳子
理事 大工原則子、野村春美、三浦啓子、宮田泰子、モーアアン
常務理事 西本玲子
業務執行理事 寺内真子

●事業方針・目標

- ・将来の時代状況の変化を見据え、中長期的視点に立って事業課題を解決する。
- ・会員活動の活性化のために、安定的な組織運営と各事業の有機的な連携を目指す。特に「総合サポートセンター構想」を実現する。
- ・100周年（2020年）以降の神戸YWCAのビジョンの明確化。

●事業報告

2020年度は、新型コロナウイルス禍における財政難への緊急対応からスタートした。特に神戸YWCA学院の教育事業は対面授業を行うことができず、急遽、オンライン授業に切り替えることのできたものもあったが、多くは休止。4月時点で、前年同月比で400万円の減収となった。そこで、経済産業省設置の県窓口での相談、日本政策金融公庫からの借入金の返済猶予申請、また神戸YWCAの関係者の方々には「新型コロナウイルス禍における緊急募金」をお願いすることとした。

しかし、状況はなお改善せず、8月には緊急財政委員会を立ち上げ、今後の各事業の展望と財政予想を協議した。10月には日本YWCA「地域YWCA支援短期貸出し」への申請、神戸YWCA会債の発行を決定した。

一方で、2018年からの懸案であった「総合サポートセンター」構想実現のために、6月から組織検討チームを立ち上げた。運営委員会とも協働しつつ、100周年以降の神戸YWCAのビジョンにつながる作業を行った。コロナ禍にあっても、理事会の掲げる目標一つひとつに取り組めたのは、変わらずご支援くださる方々あってのことである。改めて心からの感謝を申しあげたい。

2021年3月20日には、創立100周年記念式典をオンラインで開催した。

●実績

開催日	理事会（神戸YWCA本館）	出席理事数	出席監事数
5月30日	2019年度第7回理事会	理事8 陪席者1	2
7月18日	2020年度第1回理事会	7	2
10月3日	2020年度第2回理事会	8	2
10月31日	2020年度第3回理事会	8	2
12月12日	2020年度第4回理事会	8	2
2月13日	2020年度第5回理事会	8	2
3月23日	2020年度第6回理事会	8	2

監事

監事 川邊比呂子、川関敏恵

評議員会

評議員 島田恒、下村俊子、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子、柴田富士子（～2020年6月20日）、川島恵美（2020年6月21日～）

●実績

開催日	評議員会（神戸YWCA本館）	出席評議員数	欠席評議員数	出席役員	陪席
6月20日	第10回評議員会	9	0	3	1

会 勢 報 告

2021/3/31 現在

会員・会友数

	2018年	2019年	2020年	増減
成人会員	127	111	109	-2
青年会員	6	5	2	-3
年少会員	0	0	0	0
合 計	133	116	111	-5
賛助員				
個人	26	17	16	-1
法人	2	2	1	-1
会 友	11	9	9	0

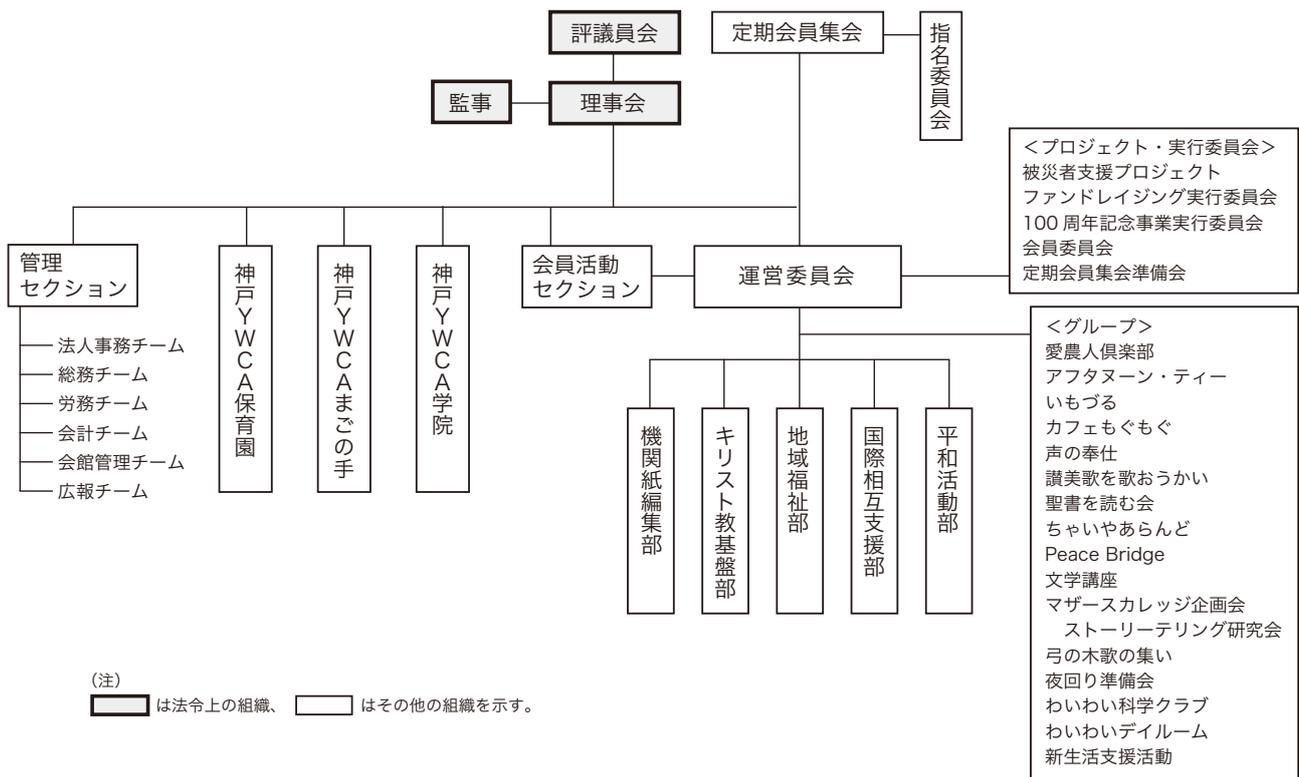
会員・会友年齢別

年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	2	0
25～29歳	0	0
30～39歳	2	0
40～49歳	9	1
50～59歳	21	1
60～69歳	26	2
70～79歳	27	3
80歳以上	23	2
不 明	1	0
合 計	111	9

職員数

	女	男	合 計	備考
幹事職	8	0	8	
まごの手職員	6	0	6	
保育園職員	2	0	2	
パート職員 (総務)	2	0	2	
パート職員 (分室)	2	0	2	
パート職員 (まごの手)	31	3	34	うち兼務1 (女)
パート職員 (保育園・保育)	8	0	8	
パート職員 (保育園・調理)	4	0	4	
学院講師	18	5	23	
合 計	81	8	89	

2020 年度公益財団法人神戸 YWCA 組織図



■評議員

川島 恵美
 島田 恒
 下村 俊子
 関本 雅子
 鶴崎 祥子
 寺澤 京子
 馬場 一郎
 藤野 達也
 松浦 裕子

■理事

理事長	平山 芳子
理事	大工原 則子
理事	野村 春美
理事	三浦 啓子
理事	宮田 泰子
理事	モーア・アン
常務理事	西本 玲子
業務執行理事	寺内 真子

■監事

監事	川関 敏恵
監事	川邊 比呂子

■運営委員

会長	野村 春美
副会長	岩切 幸子、木村 文子
書記	福田 百、東根 順子
会計	金本 美子

■職員 (幹事職)

総幹事	西本 玲子
幹事	秋月 啓子
幹事	梅川 玲子
幹事	寺内 真子
幹事	伝明地 敦子
幹事	塩見 洋子
幹事補	吉田 好江
幹事補	千葉 真理子

* 2021年3月31日現在

決算報告書

第 100 期

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人 神戸YWCA

神戸市中央区二宮1丁目12-10

貸借対照表

公益財団法人 神戸YWCA

令和 3年 3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
【資産の部】			
【流動資産】			
現金預金	19,698,351	3,995,132	15,703,219
未収金	10,535,518	9,213,975	1,321,541
その他当座資産	8,370	8,269	101
貯蔵品	791,996	679,206	115,790
流動資産合計	31,037,233	13,896,582	17,140,651
【固定資産】			
(基本財産)			
その他基本財産	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(特定資産)			
その他積立資産	1,824,958	2,377,558	△ 552,600
特定資産合計	1,824,958	2,377,558	△ 552,600
(その他固定資産)			
建 物	72,753,122	76,552,783	△ 3,799,661
什 器 備 品	421,202	137,021	284,181
土 地	95,000,000	95,000,000	0
電話加入権	284,320	284,320	0
敷 金	0	20,000	△ 20,000
その他固定資産合計	168,458,644	171,994,124	△ 3,535,480
固定資産合計	171,283,602	175,371,682	△ 4,088,080
資 産 合 計	202,320,835	189,268,264	13,052,571
【負債の部】			
【流動負債】			
未払金	3,274,067	1,803,329	1,470,738
前受金	1,487,740	2,179,100	△ 691,360
預り金	859,323	1,110,369	△ 251,046
流動負債合計	5,621,130	5,122,798	498,332
【固定負債】			
長期借入金	36,622,000	23,719,000	12,873,000
固定負債合計	36,622,000	23,719,000	12,873,000
負 債 合 計	42,243,130	28,871,798	13,371,332
【正味財産の部】			
【指定正味財産】			
地方公共団体補助金	12,274,500	13,092,800	△ 818,300
寄付金	1,824,958	2,377,558	△ 552,600
指定正味財産合計	140,099,458	141,470,358	△ 1,370,900
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,824,958)	(2,377,558)	(△ 552,600)
【一般正味財産】			
その他一般正味財産	49,978,247	48,926,108	1,052,139
一般正味財産合計	49,978,247	48,926,108	1,052,139
正 味 財 産 合 計	160,077,705	160,396,466	△ 318,761
負債及び正味財産合計	202,320,835	189,268,264	13,052,571

附属明細書

自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日

公益財団法人 神戸YWCA

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首残簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 (UFJ信託神戸)	1,000,000	0	0	1,000,000
	基本財産計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産	指定寄付金				
	100周年記念募金	1,145,600	154,400	1,000,000	300,000
	夜回り準備会	0	370,000	0	370,000
	被災者支援	106,000	0	77,000	29,000
	指導者養成	522,120	0	0	522,120
	神戸YWCA学司	534,720	0	0	534,720
	神戸YWCA会友証	69,118	0	0	69,118
特定資産合計	2,377,558	524,400	1,077,000	1,824,958	

※指定寄付金は、三井住友銀行 三宮支店 #9657246 に預入

2. 引当金の明細

引当金はありません。

正味財産増減計算書

1頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔一般正味財産増減の部〕			
〔経常増減の部〕			
〔経常収益〕			
【基本財産運用益】			
基本財産受取利息	101	100	↓
【受取会費】			
正会員受取会費	1,170,000	1,170,000	0
特別会員受取会費	96,000	72,000	24,000
賛助会員受取会費	0	10,000	△ 10,000
【事業収益】			
事業収益	111,163,900	116,437,591	△ 5,273,691
【受取補助金等】			
受取国庫補助金	3,391,680	4,447,819	△ 1,056,139
受取地方公共団体補助金	2,299,867	0	2,299,867
受取民間補助金	0	32,000	△ 32,000
受取地方公共団体助成金	655,000	0	655,000
受取民間助成金	425,220	187,100	238,120
受取補助金等振替額	818,300	818,300	0
【受取寄付金】			
受取寄付金	9,360,043	12,977,996	△ 3,617,943
受取寄付金振替額	1,077,000	100,000	977,000
【雑収益】			
受取利息	59	60	△ 1
雑収益	423,144	528,992	△ 105,849
経常収益計	136,890,314	136,979,979	△ 89,665
〔経常費用〕			
【事業費】			
給料手当	80,935,054	85,794,701	△ 4,859,647
賞与	5,969,685	9,217,184	△ 3,247,499
退職給付費用	2,339,481	2,119,550	219,931
法定福利費	8,974,218	9,542,070	△ 567,852
福利厚生費	201,056	441,146	△ 240,110
その他人件費	4,253,740	5,111,442	△ 857,702
立台貸借費	0	35,492	△ 35,492
接待交際費	22,110	0	22,110
旅費交通費	140,772	572,638	△ 431,866
通信運搬費	1,370,945	1,603,273	△ 232,328
減価償却費	4,709,534	4,073,343	636,191
消耗什器備品費	58,750	0	58,750
消耗品費	2,718,696	1,985,100	1,733,596
修繕費	289,780	264,140	25,640
印刷製本費	86,645	324,884	△ 238,239
燃料費	729	1,288	△ 559
光熱水料	1,183,088	1,518,040	△ 334,942
貸借料	1,222,745	1,090,140	132,605
保険料	388,862	490,891	△ 102,029
諸謝金	808,734	2,452,880	△ 1,644,146
委託費	1,916,821	2,378,320	△ 461,499
委託費	2,208,790	2,440,285	△ 231,495
雑費	26,834	116,849	△ 90,015
その他事業費	2,410,011	5,447,673	△ 3,037,662
【管理費】			
給料手当	2,222,872	2,370,584	△ 147,712
賞与	217,693	540,316	△ 322,623
退職給付費用	184,199	191,810	△ 7,611
法定福利費	470,077	502,743	△ 32,666
福利厚生費	8,404	39,311	△ 30,907

正味財産増減の計算書

2頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
その他人件費	69,274	76,557	△ 7,283
広告宣伝費	0	5,635	△ 5,635
旅費交通費	548	6,112	△ 5,564
通信運搬費	259,006	36,224	222,782
減価償却費	302,146	205,023	97,123
消耗品費	123,320	77,755	45,565
修繕費	25,800	16,120	9,680
印刷製本費	100,072	9,737	90,335
燃料費	0	162	△ 162
光熱水料	130,327	141,083	△ 10,756
貸借料	38,852	40,359	△ 1,507
保険料	25,989	7,691	18,298
雑費	16,705	3,719	12,986
租税公課	97,879	94,280	3,599
支払利息	217,100	879,000	△ 661,900
支払寄付金	296,711	396,429	△ 109,718
支払利息	200,873	227,788	△ 26,915
雑費	3,216	14,441	△ 11,225
その他管理費	1,670,336	1,721,004	△ 50,668
経常費用計	129,838,173	144,646,892	△ 14,808,717
評価損益等調整前当期経常増減額	1,032,139	△ 7,666,913	8,719,052
当期経常増減額	1,032,139	△ 7,666,913	8,719,052
税引前当期一般正味財産増減額	1,032,139	△ 7,666,913	8,719,052
当期一般正味財産増減額	1,032,139	△ 7,666,913	8,719,052
一般正味財産期首残高	48,926,108	56,593,021	△ 7,666,913
一般正味財産期末残高	49,978,247	48,926,108	1,052,139
(指定正味財産増減の部)			
【受取寄付金】			
受取寄付金	524,400	1,268,600	△ 731,200
【一般正味財産への振替額】			
一般正味財産への振替額	△ 1,835,300	△ 918,300	△ 917,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,370,900	327,300	△ 1,708,200
指定正味財産期首残高	111,470,358	111,133,058	337,300
指定正味財産期末残高	110,099,458	111,470,358	△ 1,370,900
正味財産期末残高	160,077,705	160,396,466	△ 318,761

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
〔一般正味財産増減の部〕				
〔経常増減の部〕				
〔経常収益〕				
【基本財産運用益】				
基本財産受取利息	0	0	101	101
【受取会費】				
正会員受取会費	0	0	1,170,000	1,170,000
特別会員受取会費	0	0	96,000	96,000
【事業収益】				
事業収益	111,046,248	111,046,248	117,652	117,652
【受取補助金等】				
受取国庫補助金	3,391,680	3,391,680	0	0
受取地方公共団体補助金	1,737,813	1,737,813	562,054	562,054
受取地方公共団体助成金	665,000	665,000	0	0
受取民間助成金	425,220	425,220	0	0
受取補助金等振替額	818,300	818,300	0	0
【受取寄付金】				
受取寄付金	5,302,347	5,302,347	4,057,696	4,057,696
受取寄付金振替額	1,077,000	1,077,000	0	0
【雑収益】				
受取利息	12	12	47	47
雑収益	60,400	60,400	362,744	362,744
経常収益計	124,524,020	124,524,020	6,366,294	6,366,294
〔経常費用〕				
【事業費】				
給料手当	80,933,054	80,933,054	0	0
賞与	5,969,685	5,969,685	0	0
退職給付費用	2,339,481	2,339,481	0	0
法定福利費	8,974,218	8,974,218	0	0
福利厚生費	201,036	201,036	0	0
その他人件費	4,253,740	4,253,740	0	0
接待交際費	22,110	22,110	0	0
旅費交通費	146,772	146,772	0	0
通信運搬費	1,370,943	1,370,943	0	0
減価償却費	4,709,334	4,709,334	0	0
消耗什器備品費	68,750	68,750	0	0
消耗品費	3,718,696	3,718,696	0	0
修繕費	289,786	289,786	0	0
印刷製本費	86,645	86,645	0	0
燃料費	729	729	0	0
光熱水料費	1,183,098	1,183,098	0	0
賃借料	1,222,745	1,222,745	0	0
保険料	388,862	388,862	0	0
請謝金	808,734	808,734	0	0
前払金	1,916,821	1,916,821	0	0
委託費	2,208,290	2,208,290	0	0
雑費	26,834	26,834	0	0
その他事業費	2,410,011	2,410,011	0	0
【管理費】				
給料手当	0	0	2,222,872	2,222,872
賞与	0	0	217,693	217,693
退職給付費用	0	0	184,199	184,199
法定福利費	0	0	470,077	470,077
福利厚生費	0	0	8,404	8,404

正味財産増減計算書内訳表

2頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
その他人件費	0	0	69,274	69,274
旅費交通費	0	0	548	548
通信運搬費	0	0	259,006	259,006
減価償却費	0	0	302,146	302,146
消耗品費	0	0	123,320	123,320
修繕費	0	0	25,800	25,800
印刷製本費	0	0	100,072	100,072
光熱水料費	0	0	130,227	130,227
賃借料	0	0	38,852	38,852
保険料	0	0	25,969	25,969
雑費	0	0	16,706	16,706
租税公課	0	0	97,879	97,879
支払利息	0	0	217,100	217,100
支払手数料	0	0	206,711	206,711
支払利息	0	0	200,873	200,873
雑費	0	0	3,216	3,216
その他管理費	0	0	1,670,336	1,670,336
経常費用計	123,246,876	123,246,876	6,591,299	6,591,299
評価損益等調整前当期経常増減額	1,277,144	1,277,144	△ 225,005	△ 225,005
当期経常増減額	1,277,144	1,277,144	△ 225,005	△ 225,005
税引前当期一般正味財産増減額	1,277,144	1,277,144	△ 225,005	△ 225,005
当期一般正味財産増減額	1,277,144	1,277,144	△ 225,005	△ 225,005
一般正味財産期首残高	△ 4,008,931	△ 4,008,931	△ 29,319,957	△ 29,319,957
一般正味財産期末残高	△ 2,731,787	△ 2,731,787	△ 29,544,962	△ 29,544,962
(指定正味財産増減の部)				
【受取寄付金】				
受取寄付金	524,400	524,400	0	0
【一般正味財産への振替額】				
一般正味財産への振替額	△ 1,893,300	△ 1,893,300	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,370,900	△ 1,370,900	0	0
指定正味財産期首残高	15,170,358	15,170,358	0	0
指定正味財産期末残高	13,799,458	13,799,458	0	0
正味財産期末残高	11,067,671	11,067,671	△ 29,544,962	△ 29,544,962

正味財産増減計算書内訳表

3頁

公益財団法人 神戸YWCA

令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:円)

科 目	内部取引等消去	合 計
【一般正味財産増減の部】		
【経常増減の部】		
【経常収益】		
【基本財産運用益】		
基本財産受取利息		101
【受取会費】		
正会員受取会費		4,179,000
特別会員受取会費		96,000
【事業収益】		
事業収益		111,163,900
【受取補助金等】		
受取国庫補助金		3,391,680
受取地方公共団体補助金		2,209,867
受取地方公共団体助成金		666,000
受取民間助成金		425,220
受取補助金等振替額		818,300
【受取寄付金】		
受取寄付金		9,360,041
受取寄付金振替額		1,077,000
【雑収益】		
受取利息		59
雑収益		423,144
経常収益計		130,890,314
【経常費用】		
【事業費】		
給 料 手 当		80,935,051
賞 与		5,989,685
退職給付費用		2,339,481
法定福利費		8,974,218
福利厚生費		201,036
その他人件費		4,253,740
接待交際費		22,110
旅費交通費		140,772
通信運搬費		1,370,945
減価償却費		4,700,334
消耗什器備品費		68,750
消耗品費		3,718,696
修繕費		289,786
印刷製本費		86,545
燃料費		729
光熱水料費		1,183,098
借入金料		1,222,745
保険料		388,862
建設費		808,734
税金		1,916,821
委託費		2,208,790
雑費		25,831
その他事業費		2,410,011
【管理費】		
給料手当		2,222,872
賞与		217,693
退職給付費用		184,199
法定福利費		470,077
福利厚生費		8,404

正味財産増減計算書内訳表

4頁

公益財団法人 神戸YWCA

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:円)

科 目	内訳取引等内訳	合 計
その他人件費		69,274
修繕費		548
通信運搬費		259,006
減価償却費		302,140
消耗品費		123,320
修繕費		25,800
印刷製本費		100,072
光熱水料費		130,227
貸借料		38,952
保険料		25,989
諸謝金		16,705
租税公課		97,879
支払負担金		217,160
支払寄付金		206,711
支払利息		200,873
雑費		3,316
その他管理費		1,670,336
経常費用計		129,838,175
評価損益等調整前当期経常増減額		1,052,139
当期経常増減額		1,052,139
税引前当期一般正味財産増減額		1,052,139
当期一般正味財産増減額		1,052,139
一般正味財産期首残高		48,925,108
一般正味財産期末残高		49,978,247
(指定正味財産増減の部)		
【受取寄付金】		
受取寄付金		524,400
【一般正味財産への振替額】		
一般正味財産への振替額	△	1,895,300
当期指定正味財産増減額	△	1,370,900
指定正味財産期首残高		111,470,858
指定正味財産期末残高		110,099,958
正味財産期末残高		160,077,705

財務諸表に対する注記

公益財団法人 神戸YWCA 自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日

1. 重要な会計方針

一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に準拠します。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施しています。ただし、建物については定額法で実施しています。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施しています(電話加入権を除く)。
有形固定資産、無形固定資産ともに直接法で表示しています。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000			1,000,000
小 計	1,000,000			1,000,000
特定資産 (指定寄付金)				
100周年記念基金	1,145,600	154,400	1,000,000	300,000
夜回り準備会	0	370,000		370,000
被災者支援	106,000		77,000	29,000
指導者養成	522,120			522,120
神戸YWCA学院	534,720			534,720
神戸YWCA保育園	69,118			69,118
小 計	2,377,558	524,400	1,077,000	1,824,958
合 計	3,377,558	524,400	1,077,000	2,824,958

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000		
小 計	1,000,000	1,000,000		
特定資産 (指定寄付金)				
100周年記念基金	300,000	300,000		
夜回り準備会	370,000	370,000		
被災者支援	29,000		29,000	
指導者養成	522,120	522,120		
神戸YWCA学院	534,720	534,720		
神戸YWCA保育園	69,118	69,118		
小 計	1,824,958	1,824,958		
合 計	2,824,958	2,824,958		

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	126,072,591	53,319,469	72,753,122
器具及び備品	4,140,044	3,718,842	421,202
少額減価償却資産	777,900	777,900	0
合 計	130,990,535	57,816,211	73,174,324

5. その他

職員の退職金支給にそなえるため、中小企業退職金共済制度に加入しています。

財産目録
令和3年3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

0000-001

貸借対照表科目	場所・数量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金	手許保管	運転資金として	674,723
普通預金	三井住友銀行 三宮支店 NO:1016332	運転資金として	5,298,250
	同上 NO:8390960	運転資金として	2,408,871
	同上 NO:8880763	運転資金として	1,380,328
	同上 NO:9657240	運転資金として	9,473,022
	振替貯金 郵貯銀行 01100-0-10029	運転資金として	67,738
	同上 14380-3068030	運転資金として	2,884
		〈費・預金計〉	19,698,351
その他当座預金	1) 財形貯蓄銀行神戸支店 定期預金利息	運転資金として	8,370
積立資産	貯蓄品/切手/はがき	共同財産	794,906
未収金	まごのちや	公・介護事業収益等	10,035,916
流動資産合計			31,037,231
固定資産			
基本財産	定期預金 1) 財形貯蓄銀行神戸支店	管理運営に資するもの 運用益を管理運営に使用	1,000,000
特定資産			
指定預金	三井住友銀行普通預金NO.9657240	100周年記念基金	300,000
		夜回り学協会	270,000
		監事者手帳	29,000
		指導者養成	129,100
		神戸YWCA学院	594,723
		神戸YWCA保育園	69,114
		(特定資産計)	1,824,958
その他固定資産			
建物	新幹道6階建て、倉庫	(共用財産)	53,771,511
		うち公益目的保有財産 91.42%	49,162,529
		うち管理運営に資するもの 6.38%	4,008,981
	倉庫(階) 神戸YWCA保育園 分室	公益目的保有財産	18,391,329
		公益目的保有財産	389,683
		(建物計)	72,753,122
土地	神戸市中央区二宮町1丁目 174.08㎡	(共用財産)	55,000,000
		うち公益目的保有財産 91.42%	86,837,144
		うち管理運営に資するもの 6.38%	8,142,857
什器備品	乳児用移動モニター車 事務所用 数備品 防災設備一式	公益目的保有財産	350,008
		管理運営に資するもの	71,193
		管理運営に資するもの	-
		〈什器備品計〉	421,201
電話加入権	711	管理運営に資するもの	294,329
		(その他固定資産計)	188,458,611
固定資産合計			171,393,602
	うち公益目的保有財産		165,861,288
	うち特定資産		1,824,958
	うち管理運営に資するもの		14,107,356
資産合計			202,530,833

財産目録
令和3年3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	活用目的等	金額
流動負債			
未払金	主2の手 給与手当・交通費等 神戸市 受託料 その他	公・介護事業の入件費 公・事業費 公・事業費 《未払金計》	2,793,347 355,900 124,920 3,274,167
前受金	令和3年度各会費 令和3年度各受講料 その他	管理運営に資する慈善事業等の会費 公・各課別の管理運営年度の受講料 公・事業費 《前受金計》	382,000 1,060,740 300,000 1,742,740
預り金	役員員他 役員員他 役員員他	健康所得税 住民税 社会保険料 《預り金計》	61,900 110,000 641,333 813,233
流動負債合計			5,821,130
固定負債			
長期借入金	日本政策金融公庫 日・YWCA 神戸YWCA会費	公・保育事業設備工事費・運転資金 公・運転資金 公・運転資金	23,622,000 3,000,000 11,000,000
固定負債合計			38,622,000
負債合計			42,243,130
正味財産			
指定正味財産	会館1階・神戸YWCA保育園 三井住友銀行 三宮支店 NO. 9637246 同上 NO. 9637246 同上 NO. 9637246 同上 NO. 9637246 同上 NO. 9637246 同上 NO. 9637246 定期預金 UY信託銀行神戸支店 上掲 神戸市中央区二宮町1丁目 174,38㎡	地方公共団体福祉基金 介護福祉等事業 指定寄付金 100周年記念募金 指定寄付金 須磨り療養会 指定寄付金 被災者支援 指定寄付金 指導者養成 指定寄付金 神戸YWCA学院 指定寄付金 神戸YWCA保育園 基本財産 《指定正味財産計》	12,214,400 300,000 370,000 29,000 322,120 334,720 63,118 1,000,000 95,000,000 110,090,458
一般正味財産			49,977,247
正味財産合計			160,077,705
負債及び正味財産合計			202,320,835

(注) 令和2年度期首及び期末の公益目的保有財産額の合計は次のとおりです。

(単位:円)	
期首	164,337,036
期末	155,351,286

2020年度全事業寄付金内訳について

事業および活動名	寄付金額
■神戸YWCA 法人全体のために	4,054,096
コロナ緊急募会、冬季クリスマス募会他、寄付	3,794,682
ファンドレイジング実行委員会	254,414
機関紙編集部	5,000
■神戸YWCA 公益目的事業	5,302,347
100周年記念事業寄付金	3,794,600
神戸YWCA 学院	610,530
神戸YWCA まごの手	46,976
神戸YWCA 保育園	560,000
神戸YWCA 分室	18,260
部およびグループ活動のために 被災者支援プロジェクト、キリスト教基盤部、文字講座、 地域福祉部、ちやいやあらんど、 夜回り準備会、わいわい科学クラブ、 木曜カフェ、カフェもくもく、平和活動部、 ピースブリッジ、わいわい食事会、 機関紙編集部	796,381
2020年度寄付金受入額	9,884,443

*100周年記念事業寄付金の内、154,400円を「指定寄付金」に取り分けた。

*夜回り準備会寄付金の内、370,000円を「指定寄付金」に取り分けた。

指定寄付金について

指定先	前期末残高	当期寄付額	当期支出額	期末残高	備考
100周年記念募会	1,145,600	154,400	1,000,000	300,000	2020年度寄付額3,794,600円のうち154,400円を「指定寄付金」として取り分け、2021年度へ繰り越した。
夜回り準備会		370,000		370,000	2020年度寄付額574,400円のうち370,000円を「指定寄付金」として取り分け、2021年度へ繰り越した。
被災者支援	106,000		77,000	29,000	セカンドハウスのハウスクリーニング代として支出した。
指導者養成	522,120			522,120	
神戸YWCA 学院	534,720			534,720	
神戸YWCA 保育園	69,118			69,118	

監査報告書

公益財団法人 神戸YWCA
理事長 平山 芳子 殿

令和 3年 5月 29日

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川関敏恵

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川邊比呂子

私たち監事は、令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月 31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な文書書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp/top



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



ツイッター @KobeYWCA



インスタグラム : kobeywca

公益財団法人 神戸YWCA

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

2020年、神戸YWCA創立100周年

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。

